

平成22年度 事務事業評価

整理番号
19-41

平成21年度予算	会計名称	款	項	目	事業	細事業
	一般会計	10	05	01	18	01
細事業名		学校支援地域本部事業				

担当部局	教育委員会事務局
担当課等	社会教育課
担当課長の氏名	安達 忠行
担当者の氏名	島貫 博志

PLAN	
総合計画 (前期基本計画)	基本方針 (政策) IV 生涯学習都市 計画項目 (施策) ② 学校教育の充実 施策方針 6 地域に開かれた学校づくり
事業の目的	(どのような目的で事業を実施するか) 地域全体で学校教育を支援する連携体制を構築する。また、地域住民の経験や特技を活かす場として地域と学校を結びつけることにより、地域の教育力の活性化と住民の意欲・能力活用し、地域の活性化と学校を核とした地域づくりを推進する。 平成26年度事業の効果目標 (平成26年度までに、どのような効果をだすか。できるだけ指標と数値で記入) 地域住民が学校支援ボランティアとして学校支援活動に参加 ボランティア登録者数 300名

DO	
平成21年度事業の実績	(何を対象に、何をしたか) 学校支援ボランティアが学校の求めに応じて子どもたちの安全確保や学習支援活動、部活動支援、学校の環境整備などさまざまな学校支援活動を峰山中学校区、大宮中学校区、網野中学校区で実施した。 ○ボランティア登録者数 170名 ○ボランティア活動 1,315件; 延べ12,923名
平成21年度事業の効果	(実績により、どのような効果があったか。できるだけ指標と数値で記入) 学校の学習環境の充実 地域人材の活用及び生きがいづくり

●平成21年度決算

予算科目	歳出		歳入		
	節	金額(千円)	項目	名称	金額(千円)
	8	3,011	国庫支出金		
	9	44	府支出金	地域で支える学校教育推進事業	3,702
	11	771	起債		
			分担金・負担金		
			その他		
			一般財源		124
事業費合計		3,826	合計		3,826

CHECK					
評価	目標達成度・・・DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)が、PLAN(事業の目的、あるいは平成26年度事業の効果目標)の達成に向けて順調に進捗したか				
	<table border="1"> <tr> <td>○ 進捗している(できている)</td> <td rowspan="3">理由</td> <td rowspan="3">平成20年度より段階的に事業エリアを拡充し、平成22年度から全域で事業を実施する。ボランティア登録者も随時、増えており学校での活動内容も多様化している。</td> </tr> <tr> <td>▲ 少し遅れている(少しできていない)</td> </tr> <tr> <td>× 遅れている(できていない)</td> </tr> </table>	○ 進捗している(できている)	理由	平成20年度より段階的に事業エリアを拡充し、平成22年度から全域で事業を実施する。ボランティア登録者も随時、増えており学校での活動内容も多様化している。	▲ 少し遅れている(少しできていない)
○ 進捗している(できている)	理由	平成20年度より段階的に事業エリアを拡充し、平成22年度から全域で事業を実施する。ボランティア登録者も随時、増えており学校での活動内容も多様化している。			
▲ 少し遅れている(少しできていない)					
× 遅れている(できていない)					
評価	効率性・・・DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)に対して、コスト削減の余地がなかったか				
	<table border="1"> <tr> <td>○ 削減の余地がなかった</td> <td rowspan="3">理由</td> <td rowspan="3">国の定める委託期間(4月1日～3月15日)で事業を実施すれば単費の持ち出しは不要となる。</td> </tr> <tr> <td>▲ 少し削減の余地があった</td> </tr> <tr> <td>× 削減の余地があった</td> </tr> </table>	○ 削減の余地がなかった	理由	国の定める委託期間(4月1日～3月15日)で事業を実施すれば単費の持ち出しは不要となる。	▲ 少し削減の余地があった
○ 削減の余地がなかった	理由	国の定める委託期間(4月1日～3月15日)で事業を実施すれば単費の持ち出しは不要となる。			
▲ 少し削減の余地があった					
× 削減の余地があった					

ACTION			
改善	事業内容の方向性		
	A 現状維持	理由	学校、ボランティア双方ともに事業の成果が現れている。地域と学校とを結ぶコーディネーターが重要な役割を担っている。今後もボランティア人材の確保と学校支援活動の拡充を図る。
	B 内容の見直し		
	C 統廃合・休止・終了		
	事業規模の方向性		
	B 現状維持	理由	国の委託制度が平成22年度で終了する。国の動向に注視しつつ、今後の事業の方向性を検討する必要がある。
A 事業拡大			
C 事業縮小			

平成22年度 事務事業評価

整理番号
20-1

平成21年度予算	会計名称	款	項	目	事業	細事業
	一般会計	10	05	01	05	01
細事業名		青少年教育事業				

担当部局	教育委員会事務局
担当課等	社会教育課
担当課長の氏名	安達 忠行
担当者の氏名	島貫 博志

PLAN	
総合計画 (前期基本計画)	基本方針 (政策) IV 生涯学習都市 計画項目 (施策) ③ 若者の育成 施策方針 1 青少年の健全育成
事業の目的	(どのような目的で事業を実施するか) 体験活動の実施や関係団体への支援を通して、京丹後市の将来を担う青少年の心豊かな人間形成の基礎づくりを目的とする。 事業の目的 (平成26年度までに、どのような効果をだすか。できるだけ指標と数値で記入) 様々な体験活動の実施と放課後や休日における子どもの居場所づくり

DO	
平成21年度事業の実績	(何を対象に、何をしたか) 青少年を対象とした体験活動(キャンプ、自然観察、陶芸、木工)や映画会、京都工芸繊維大学との連携による理科わくわく体験教室の実施した。21事業(51回);延べ2,089名が参加 また、青少年健全育成会(6団体:640千円)、児童合唱団(4団体:852千円)、地域子ども教室(9教室:1,500千円)などへ活動支援を行った。
平成21年度事業の効果	(実績により、どのような効果があったか。できるだけ指標と数値で記入) 様々な体験活動や地域住民との交流による青少年の健全育成 青少年の各種育成団体への支援による組織の活性化

●平成21年度決算

予算科目	歳出		歳入		
	節	金額(千円)	項目	名称	金額(千円)
予算科目	8	172	財源内訳	国庫支出金	
	9	94		府支出金	
	11	176		起債	
	13	17		分担金・負担金	
	14	179		その他	
	19	3,149			
			一般財源		3,787
事業費合計		3,787	合計		3,787

CHECK							
評価	目標達成度・・・DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)が、PLAN(事業の目的、あるいは平成26年度事業の効果目標)の達成に向けて順調に進捗したか						
	<table border="1"> <tr> <td>▲</td> <td>○ 進捗している(できている)</td> <td rowspan="3">理由 各種青少年団体の育成や組織体制の再編など停滞している。</td> </tr> <tr> <td></td> <td>▲ 少し遅れている(少しできていない)</td> </tr> <tr> <td></td> <td>× 遅れている(できていない)</td> </tr> </table>	▲	○ 進捗している(できている)	理由 各種青少年団体の育成や組織体制の再編など停滞している。		▲ 少し遅れている(少しできていない)	
▲	○ 進捗している(できている)	理由 各種青少年団体の育成や組織体制の再編など停滞している。					
	▲ 少し遅れている(少しできていない)						
	× 遅れている(できていない)						
評価	効率性・・・DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)に対して、コスト削減の余地がなかったか						
	<table border="1"> <tr> <td>○</td> <td>○ 削減の余地がなかった</td> <td rowspan="3">理由 青少年の指導にあたる講師や安全管理員をボランティアでお世話になるなど必要最小限の予算で対応している。</td> </tr> <tr> <td></td> <td>▲ 少し削減の余地があった</td> </tr> <tr> <td></td> <td>× 削減の余地があった</td> </tr> </table>	○	○ 削減の余地がなかった	理由 青少年の指導にあたる講師や安全管理員をボランティアでお世話になるなど必要最小限の予算で対応している。		▲ 少し削減の余地があった	
○	○ 削減の余地がなかった	理由 青少年の指導にあたる講師や安全管理員をボランティアでお世話になるなど必要最小限の予算で対応している。					
	▲ 少し削減の余地があった						
	× 削減の余地があった						

ACTION			
改善	事業内容の方向性		
	A	A 現状維持 B 内容の見直し C 統廃合・休止・終了	理由 継続的に体験活動事業を実施するとともに団体への支援が必要である。
	A	A 事業拡大 B 現状維持 C 事業縮小	理由 青少年を取り巻く環境を考えると地域、家庭、学校との連携による青少年の育成と子どもの居場所づくりの充実が必要である。

平成22年度 事務事業評価

整理番号
20-2

平成21年度予算	会計名称	款	項	目	事業	細事業
	一般会計	10	05	01	04	01
細事業名		成人式開催事業				

担当部局	教育委員会事務局
担当課等	社会教育課
担当課長の氏名	安達 忠行
担当者の氏名	土出 政信

PLAN	
総合計画 (前期基本計画)	基本方針 (政策) IV 生涯学習都市 計画項目 (施策) ③ 若者の育成 施策方針 2 まちづくりへの若者の参加促進
事業の目的	(どのような目的で事業を実施するか) 京丹後市の新成人を一堂に集め、成人としての門出を祝う場として式典を開催する。 平成26年度事業の効果目標 (平成26年度までに、どのような効果をだすか。できるだけ指標と数値で記入) 成人式の出席率 80%以上

DO	
平成21年度事業の実績	(何を対象に、何をしたか) 新成人の門出を祝うために、市内新成人が京都府丹後文化会館に一同に会して式典を開催した。積雪の少ない3月に式典を開催するなど、参加される方に配慮している。
平成21年度事業の効果	(実績により、どのような効果があったか。できるだけ指標と数値で記入) 成人式出席者 622人(出席率83%)

●平成21年度決算

予算科目	歳出		歳入		
	節	金額(千円)	項目	名称	金額(千円)
財源内訳	8	1,243	国庫支出金		
	11	41	府支出金		
	12	163	起債		
	13	15	分担金・負担金		
	14	220	その他		
事業費合計		1,682	一般財源		1,682
			合計		1,682

CHECK				
評価	目標達成度・・・DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)が、PLAN(事業の目的、あるいは平成26年度事業の効果目標)の達成に向けて順調に進捗したか			
	<table border="1"> <tr> <td>○ 進捗している(できている)</td> <td rowspan="3">理由 出席率は、年によって若干の変動はあるものの80%に達している。</td> </tr> <tr> <td>○ ▲ 少し遅れている(少しできていない)</td> </tr> <tr> <td>○ × 遅れている(できていない)</td> </tr> </table>	○ 進捗している(できている)	理由 出席率は、年によって若干の変動はあるものの80%に達している。	○ ▲ 少し遅れている(少しできていない)
○ 進捗している(できている)	理由 出席率は、年によって若干の変動はあるものの80%に達している。			
○ ▲ 少し遅れている(少しできていない)				
○ × 遅れている(できていない)				
評価	効率性・・・DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)に対して、コスト削減の余地がなかったか			
	<table border="1"> <tr> <td>○ 削減の余地がなかった</td> <td rowspan="3">理由 必要最低限の事業費で開催しているため、コスト削減は難しい。</td> </tr> <tr> <td>○ ▲ 少し削減の余地があった</td> </tr> <tr> <td>○ × 削減の余地があった</td> </tr> </table>	○ 削減の余地がなかった	理由 必要最低限の事業費で開催しているため、コスト削減は難しい。	○ ▲ 少し削減の余地があった
○ 削減の余地がなかった	理由 必要最低限の事業費で開催しているため、コスト削減は難しい。			
○ ▲ 少し削減の余地があった				
○ × 削減の余地があった				

ACTION		
改善	事業内容の方向性	
	A 現状維持	理由 少子化社会のなかで、次代を担う新成人への期待は大きく、市として社会人の一員となる若者の門出を祝うことは重要である。
	B 内容の見直し	
	C 統廃合・休止・終了	
	事業規模の方向性	
	B 現状維持	理由 新成人の門出を祝う伝統的な事業であり、今後も継続して実施する必要がある。
A 事業拡大		
C 事業縮小		

平成22年度 事務事業評価

整理番号
21-1

平成21年度予算	会計名称	款	項	目	事業	細事業
	一般会計	10	05	01	02	01
細事業名		社会教育委員設置事業				

担当部局	教育委員会事務局
担当課等	社会教育課
担当課長の氏名	安達 忠行
担当者の氏名	土出 政信

PLAN	
総合計画 (前期基本計画)	基本方針 (政策) IV 生涯学習都市 計画項目 (施策) ④ 社会教育・スポーツの充実 施策方針 1 社会教育体制の確立
事業の目的	(どのような目的で事業を実施するか) 市が行う社会教育行政全般について、調査及び審議を行い市民の声を反映した社会教育の推進を図る。 平成26年度事業の効果目標 (平成26年度までに、どのような効果をだすか。できるだけ指標と数値で記入)

DO	
平成21年度事業の実績	(何を対象に、何をしたか) 社会教育の現状と課題について協議するとともに、教育委員会からの諮問に応じて、答申のための調査研究及び意見交換を行ない、中間報告書を提出した。
平成21年度事業の効果	(実績により、どのような効果があったか。できるだけ指標と数値で記入)

●平成21年度決算

予算科目	歳出		歳入		
	節	金額(千円)	項目	名称	金額(千円)
財源内訳	1	552	国庫支出金		
	9	148	府支出金		
	11	12	起債		
	14	13	分担金・負担金		
	19	65	その他		
事業費合計		790	合計		790

CHECK							
評価	目標達成度・・・DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)が、PLAN(事業の目的、あるいは平成26年度事業の効果目標)の達成に向けて順調に進捗したか						
	<table border="1"> <tr> <td>▲</td> <td>○ 進捗している(できている)</td> <td rowspan="3">理由 課題が多いなかで、協議できる会議の回数が限られているため、方向性を見出すまでの十分な検討ができていない。</td> </tr> <tr> <td></td> <td>▲ 少し遅れている(少しできていない)</td> </tr> <tr> <td></td> <td>× 遅れている(できていない)</td> </tr> </table>	▲	○ 進捗している(できている)	理由 課題が多いなかで、協議できる会議の回数が限られているため、方向性を見出すまでの十分な検討ができていない。		▲ 少し遅れている(少しできていない)	
▲	○ 進捗している(できている)	理由 課題が多いなかで、協議できる会議の回数が限られているため、方向性を見出すまでの十分な検討ができていない。					
	▲ 少し遅れている(少しできていない)						
	× 遅れている(できていない)						
評価	効率性・・・DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)に対して、コスト削減の余地がなかったか						
	<table border="1"> <tr> <td>○</td> <td>○ 削減の余地がなかった</td> <td rowspan="3">理由 会議の回数及び研修機会の確保は必要最小限であり、削減の余地はなかった。</td> </tr> <tr> <td></td> <td>▲ 少し削減の余地があった</td> </tr> <tr> <td></td> <td>× 削減の余地があった</td> </tr> </table>	○	○ 削減の余地がなかった	理由 会議の回数及び研修機会の確保は必要最小限であり、削減の余地はなかった。		▲ 少し削減の余地があった	
○	○ 削減の余地がなかった	理由 会議の回数及び研修機会の確保は必要最小限であり、削減の余地はなかった。					
	▲ 少し削減の余地があった						
	× 削減の余地があった						

ACTION			
改善	事業内容の方向性		
	A	A 現状維持 B 内容の見直し C 統廃合・休止・終了	理由 社会教育法第15条の規定に基づき設置するものであり、市民の意向を反映した社会教育行政を進めるために必要である。
	A	A 事業拡大 B 現状維持 C 事業縮小	理由 市民のニーズにあった社会教育を推進するため、引き続き社会教育委員を設置し、協議ができる会議の回数を拡大する。

平成22年度 事務事業評価

整理番号
21-2

平成21年度予算	会計名称	款	項	目	事業	細事業
	一般会計	10	05	01	03	01
細事業名		社会教育指導員設置事業				

担当部局	教育委員会事務局
担当課等	社会教育課
担当課長の氏名	安達 忠行
担当者の氏名	土出 政信

PLAN	
総合計画 (前期基本計画)	基本方針 (政策) IV 生涯学習都市 計画項目 (施策) ④ 社会教育・スポーツの充実 施策方針 1 社会教育体制の確立
事業の目的	(どのような目的で事業を実施するか) 社会教育の推進体制を整備するため、社会教育課及び各地域公民館に社会教育指導員を設置し、事業を積極的に展開することにより、社会教育活動の充実を図る。 平成26年度事業の効果目標 (平成26年度までに、どのような効果をだすか。できるだけ指標と数値で記入)

DO	
平成21年度事業の実績	(何を対象に、何をしたか) 社会教育事業に対する住民ニーズの多様化に対応するため、専門的な技能を有する社会教育指導員を社会教育課へ1名及び各地域公民館へ8名配置し、各種事業の企画立案、運営、社会教育団体に対する指導助言など積極的に行った。
平成21年度事業の効果	(実績により、どのような効果があったか。できるだけ指標と数値で記入) 京丹後市文化協会の設立及び支部体制(6支部)の確立 市内青少年育成団体の運営(6団体)

●平成21年度決算

予算科目	歳出		歳入		
	節	金額(千円)	項目	名称	金額(千円)
予算科目	1	18,981	財源内訳	国庫支出金	
	4	2,690		府支出金	
	9	556		起債	
			分担金・負担金		
			その他		
			一般財源	22,227	
事業費合計		22,227	合計		22,227

CHECK								
評価	目標達成度・・・DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)が、PLAN(事業の目的、あるいは平成26年度事業の効果目標)の達成に向けて順調に進捗したか							
	<table border="1"> <tr> <td>○</td> <td>進捗している(できている)</td> <td rowspan="3">理由</td> <td rowspan="3">社会教育事業の企画立案及び効果的な運営と社会教育団体の育成を図ることができた。</td> </tr> <tr> <td>▲</td> <td>少し遅れている(少しできていない)</td> </tr> <tr> <td>×</td> <td>遅れている(できていない)</td> </tr> </table>	○	進捗している(できている)	理由	社会教育事業の企画立案及び効果的な運営と社会教育団体の育成を図ることができた。	▲	少し遅れている(少しできていない)	×
○	進捗している(できている)	理由	社会教育事業の企画立案及び効果的な運営と社会教育団体の育成を図ることができた。					
▲	少し遅れている(少しできていない)							
×	遅れている(できていない)							
評価	効率性・・・DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)に対して、コスト削減の余地がなかったか							
	<table border="1"> <tr> <td>○</td> <td>削減の余地がなかった</td> <td rowspan="3">理由</td> <td rowspan="3">必要最小限の配置であり、削減の余地はなかった。</td> </tr> <tr> <td>▲</td> <td>少し削減の余地があった</td> </tr> <tr> <td>×</td> <td>削減の余地があった</td> </tr> </table>	○	削減の余地がなかった	理由	必要最小限の配置であり、削減の余地はなかった。	▲	少し削減の余地があった	×
○	削減の余地がなかった	理由	必要最小限の配置であり、削減の余地はなかった。					
▲	少し削減の余地があった							
×	削減の余地があった							

ACTION								
改善	事業内容の方向性							
	<table border="1"> <tr> <td>A</td> <td>A 現状維持</td> <td rowspan="3">理由</td> <td rowspan="3">各種社会教育事業の効果的な実施と社会教育団体の育成・支援を行なう。</td> </tr> <tr> <td></td> <td>B 内容の見直し</td> </tr> <tr> <td></td> <td>C 統廃合・休止・終了</td> </tr> </table>	A	A 現状維持	理由	各種社会教育事業の効果的な実施と社会教育団体の育成・支援を行なう。		B 内容の見直し	
A	A 現状維持	理由	各種社会教育事業の効果的な実施と社会教育団体の育成・支援を行なう。					
	B 内容の見直し							
	C 統廃合・休止・終了							
改善	事業規模の方向性							
	<table border="1"> <tr> <td>B</td> <td>A 事業拡大</td> <td rowspan="3">理由</td> <td rowspan="3">住民のニーズに応える社会教育を推進するため、引き続き10名の社会教育指導員を設置する。</td> </tr> <tr> <td></td> <td>B 現状維持</td> </tr> <tr> <td></td> <td>C 事業縮小</td> </tr> </table>	B	A 事業拡大	理由	住民のニーズに応える社会教育を推進するため、引き続き10名の社会教育指導員を設置する。		B 現状維持	
B	A 事業拡大	理由	住民のニーズに応える社会教育を推進するため、引き続き10名の社会教育指導員を設置する。					
	B 現状維持							
	C 事業縮小							

平成22年度 事務事業評価

整理番号
21-3

平成21年度予算	会計名称	款	項	目	事業	細事業
	一般会計	10	05	02	01	01
細事業名		峰山地域公民館管理事業				

担当部局	教育委員会事務局
担当課等	社会教育課
担当課長の氏名	安達 忠行
担当者の氏名	中村 孝幸

総合計画 (前期基本計画)	基本方針 (政策)	IV 生涯学習都市
	計画項目 (施策)	④ 社会教育・スポーツの充実
	施策方針	1 社会教育体制の確立
事業の目的	(どのような目的で事業を実施するか) 生涯学習都市の実現のため、その拠点となる施設の維持管理を行なう。	平成26年度 事業の効果目標 (平成26年度までに、どのような効果をだすか。できるだけ指標と数値で記入)

平成21年度 事業の実績	(何を対象に、何をしたか) 峰山地域公民館の施設・設備の維持管理及び日常の管理業務に係る事務環境を維持する。
平成21年度 事業の効果	(実績により、どのような効果があったか。できるだけ指標と数値で記入) 年間利用者数 2,492件 48,637人

●平成21年度決算

予算科目	歳出		歳入		
	節	金額(千円)	項目	名称	金額(千円)
財源内訳	11	3,430	国庫支出金		
	12	179	府支出金		
	13	3,830	起債		
	14	15	分担金・負担金		
	15	53	その他	使用料	645
	18	60		上下水道料金負担金	181
	19	2			
事業費合計		7,569	合計		7,569

評価	目標達成度・・・DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)が、PLAN(事業の目的、あるいは平成26年度事業の効果目標)の達成に向けて順調に進捗したか	
	×	理由 昭和55年建設以来、各箇所の修繕が必要となっているが、予算が不足しているため。
	○	理由 節電、節水、反故紙の利用等、可能な限りの経費節減に努めた。
	効率性・・・DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)に対して、コスト削減の余地がなかったか	

改善	事業内容の方向性	
	A	理由 耐震性の問題も含め、市民に安全、快適なサービスの提供するため
	B	
	C	
	事業規模の方向性	
	A	理由 耐震性の問題も含め、市民に安全、快適なサービスの提供するため

平成22年度 事務事業評価

整理番号
21-4

平成21年度予算	会計名称	款	項	目	事業	細事業
	一般会計	10	05	02	01	02
細事業名	大宮地域公民館管理事業					

担当部局	教育委員会事務局
担当課等	社会教育課
担当課長の氏名	安達 忠行
担当者の氏名	水口 規宏

総合計画 (前期基本計画)	基本方針 (政策)	IV 生涯学習都市	
	計画項目 (施策)	④ 社会教育・スポーツの充実	
	施策方針	1 社会教育体制の確立	
事業の目的	(どのような目的で事業を実施するか)	生涯学習都市の実現のため、その拠点となる施設の維持管理を行なう。	平成26年度事業の効果目標 (平成26年度までに、どのような効果をだすか。できるだけ指標と数値で記入)

平成21年度事業の実績	(何を対象に、何をしたか)	大宮地域公民館の施設・設備の維持管理及び日常の管理業務に係る事務環境を維持する。
平成21年度事業の効果	(実績により、どのような効果があったか。できるだけ指標と数値で記入)	事務に支障をきたさない程度の事務環境を維持することができた。

●平成21年度決算

予算科目	歳出		歳入		
	節	金額(千円)	項目	名称	金額(千円)
事業費合計	11	56	財源内訳	国庫支出金	
	14	206		府支出金	
				起債	
				分担金・負担金	
				その他	
				一般財源	262
				合計	262
		262			

評価	目標達成度・・・DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)が、PLAN(事業の目的、あるいは平成26年度事業の効果目標)の達成に向けて順調に進捗したか	
	○	理由 事務に支障をきたさない程度の事務環境を維持することができた。
	○	理由 反故紙の利用等、可能な経費節減に努めた。
	○	理由 反故紙の利用等、可能な経費節減に努めた。

改善	事業内容の方向性	
	A	理由 適正な日常の管理業務に係る事務環境を維持するため。
	B	理由 適正な日常の管理業務に係る事務環境を維持するため。
	C	
	事業規模の方向性	
	B	理由 適正な日常の管理業務に係る事務環境を維持するため。

平成22年度 事務事業評価

整理番号
21-5

平成21年度予算	会計名称	款	項	目	事業	細事業
	一般会計	10	05	02	01	03
細事業名	網野地域公民館管理事業					

担当部局	教育委員会事務局
担当課等	社会教育課
担当課長の氏名	安達 忠行
担当者の氏名	椋平 哲朗

総合計画 (前期基本計画)	基本方針 (政策)	IV 生涯学習都市
	計画項目 (施策)	④ 社会教育・スポーツの充実
	施策方針	1 社会教育体制の確立
事業の目的	(どのような目的で事業を実施するか) 生涯学習都市の実現のため、その拠点となる施設の維持管理を行なう。	平成26年度事業の効果目標 (平成26年度までに、どのような効果をだすか。できるだけ指標と数値で記入)

平成21年度事業の実績	(何を対象に、何をしたか)	網野地域公民館の施設・設備の維持管理及び日常の管理業務に係る事務環境を維持する。
平成21年度事業の効果	(実績により、どのような効果があったか。できるだけ指標と数値で記入)	良好な事務環境を維持できた。

●平成21年度決算

予算科目	歳出		歳入		
	節	金額(千円)	項目	名称	金額(千円)
事業費合計	11	154	財源内訳	国庫支出金	
	12	41		府支出金	
	14	191		起債	
				分担金・負担金	
				その他	
				一般財源	386
事業費合計		386	合計		386

評価	目標達成度・・・DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)が、PLAN(事業の目的、あるいは平成26年度事業の効果目標)の達成に向けて順調に進捗したか	
	○	理由 良好な事務環境を維持できた。
	○	理由 反故紙の利用等、可能な限りの経費節減に努めた。
	○	理由
効率性・・・DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)に対して、コスト削減の余地がなかったか		
○	理由	

改善	事業内容の方向性	
	A	理由 適正な日常の管理業務に係る事務環境を維持するため。
	B	理由
	C	理由
	事業規模の方向性	
	B	理由 適正な日常の管理業務に係る事務環境を維持するため。

平成22年度 事務事業評価

整理番号
21-6

平成21年度予算	会計名称	款	項	目	事業	細事業
	一般会計	10	05	02	01	04
細事業名		丹後地域公民館管理事業				

担当部局	教育委員会事務局
担当課等	社会教育課
担当課長の氏名	安達 忠行
担当者の氏名	溝尻 美穂

総合計画 (前期基本計画)	基本方針 (政策)	IV 生涯学習都市
	計画項目 (施策)	④ 社会教育・スポーツの充実
	施策方針	1 社会教育体制の確立
事業の目的	(どのような目的で事業を実施するか) 生涯学習都市の実現のため、その拠点となる施設の維持管理を行なう。	平成26年度事業の効果目標 (平成26年度までに、どのような効果をだすか。できるだけ指標と数値で記入)

平成21年度事業の実績	(何を対象に、何をしたか)	丹後地域公民館の施設・設備の維持管理及び日常の管理業務に係る事務環境を維持する。
平成21年度事業の効果	(実績により、どのような効果があったか。できるだけ指標と数値で記入)	年間利用者数 794件 14,475人

●平成21年度決算

予算科目	歳出		歳入		
	節	金額(千円)	項目	名称	金額(千円)
財源内訳	11	3,591	国庫支出金		
	12	265	府支出金		
	13	3,013	起債		
	14	193	分担金・負担金		
			その他	利用料	74
				コピー機使用料	14
				公有財産使用料	36
			一般財源		6,938
事業費合計		7,062	合計		7,062

評価	目標達成度・・・DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)が、PLAN(事業の目的、あるいは平成26年度事業の効果目標)の達成に向けて順調に進捗したか	
	▲	理由
	○	理由
	効率性・・・DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)に対して、コスト削減の余地がなかったか	

改善	事業内容の方向性	
	A	理由
	事業規模の方向性	
	B	理由

平成22年度 事務事業評価

整理番号
21-7

平成21年度予算	会計名称	款	項	目	事業	細事業
	一般会計	10	05	02	01	05
細事業名		弥栄地域公民館管理事業				

担当部局	
教育委員会事務局	
担当課等	担当課長の氏名
社会教育課	安達 忠行
	担当者の氏名
	大槻 秀明

総合計画 (前期基本計画)	基本方針 (政策)	IV 生涯学習都市	
	計画項目 (施策)	④ 社会教育・スポーツの充実	
	施策方針	1 社会教育体制の確立	
事業の目的	(どのような目的で事業を実施するか)	生涯学習都市の実現のため、その拠点となる施設の維持管理を行なう。	平成26年度事業の効果目標 (平成26年度までに、どのような効果をだすか。できるだけ指標と数値で記入)

平成21年度事業の実績	(何を対象に、何をしたか)	弥栄地域公民館の施設・設備の維持管理及び日常の管理業務に係る事務環境を維持する。
平成21年度事業の効果	(実績により、どのような効果があったか。できるだけ指標と数値で記入)	年間利用者数 1,491件 38,269人

●平成21年度決算

予算科目	歳出		歳入		
	節	金額(千円)	項目	名称	金額(千円)
	11	1,893	国庫支出金		
	12	147	府支出金		
	13	224	起債		
	14	236	分担金・負担金		
			その他	使用料	103
			一般財源		2,397
事業費合計		2,500	合計		2,500

評価	目標達成度・・・DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)が、PLAN(事業の目的、あるいは平成26年度事業の効果目標)の達成に向けて順調に進捗したか		
	▲	○ 進捗している(できている) ▲ 少し遅れている(少しできていない) × 遅れている(できていない)	理由 予算の範囲内で可能な限りの修繕したが、まだ修繕必要な箇所がある。
	効率性・・・DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)に対して、コスト削減の余地がなかったか		
	○	○ 削減の余地がなかった ▲ 少し削減の余地があった × 削減の余地があった	理由 節電、節水、反故紙の利用等、可能な限りの経費節減に努めた。

改善	事業内容の方向性		
	A	A 現状維持 B 内容の見直し C 統廃合・休止・終了	理由 耐震性の問題も含め、市民に安全、快適なサービスの提供するため
	事業規模の方向性		
	A	A 事業拡大 B 現状維持 C 事業縮小	理由 耐震性の問題も含め、市民に安全、快適なサービスの提供するため

平成22年度 事務事業評価

整理番号
21-8

平成21年度予算	会計名称	款	項	目	事業	細事業
	一般会計	10	05	02	01	06
細事業名	久美浜地域公民館管理事業					

担当部局	教育委員会事務局
担当課等	社会教育課
担当課長の氏名	安達 忠行
担当者の氏名	永井 千裕

総合計画 (前期基本計画)	基本方針 (政策)	IV 生涯学習都市
	計画項目 (施策)	④ 社会教育・スポーツの充実
	施策方針	1 社会教育体制の確立
事業の目的	(どのような目的で事業を実施するか) 生涯学習都市の実現のため、その拠点となる施設の維持管理を行なう。	平成26年度事業の効果目標 (平成26年度までに、どのような効果をだすか。できるだけ指標と数値で記入)

平成21年度事業の実績	(何を対象に、何をしたか)	久美浜地域公民館の施設・設備の維持管理及び日常の管理業務に係る事務環境を維持する。
平成21年度事業の効果	(実績により、どのような効果があったか。できるだけ指標と数値で記入)	

●平成21年度決算

予算科目	歳出		歳入		
	節	金額(千円)	項目	名称	金額(千円)
財源内訳	11	957	国庫支出金		
	12	217	府支出金		
	13	414	起債		
	14	112	分担金・負担金		
	15	14	その他		
事業費合計		1,714	合計		1,714

評価	目標達成度・・・DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)が、PLAN(事業の目的、あるいは平成26年度事業の効果目標)の達成に向けて順調に進捗したか	
	○ 進捗している(できている)	理由 業務遂行に必要な事務環境を整えることが出来た。
	▲ 少し遅れている(少しできていない)	
	× 遅れている(できていない)	
効率性・・・DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)に対して、コスト削減の余地がなかったか		
○ 削減の余地がなかった	理由 節電、節水、反故紙の利用等、可能な限りの経費節減に努めた。	
▲ 少し削減の余地があった		
× 削減の余地があった		

改善	事業内容の方向性		
	A	A 現状維持	理由 適正な日常の管理業務に係る事務環境を維持するため。
		B 内容の見直し	
		C 統廃合・休止・終了	
	事業規模の方向性		
	B	A 事業拡大	理由 適正な日常の管理業務に係る事務環境を維持するため。
B 現状維持			
C 事業縮小			

平成22年度 事務事業評価

整理番号
21-9

平成21年度予算	会計名称	款	項	目	事業	細事業
	一般会計	10	05	02	03	01
細事業名		峰山地域公民館運営事業				

担当部局	教育委員会事務局
担当課等	社会教育課
担当課長の氏名	安達 忠行
担当者の氏名	中村 孝幸

PLAN	
総合計画 (前期基本計画)	基本方針 (政策) IV 生涯学習都市 計画項目 (施策) ④ 社会教育・スポーツの充実 施策方針 1 社会教育体制の確立
事業の目的	(どのような目的で事業を実施するか) 生涯学習都市の実現のため、地域の生涯学習活動の拠点として、地域の課題に即した各種事業を実施するとともに、地区公民館の支援及び各種社会教育団体・地域指導者の育成を図る。 事業の效果目標 (平成26年度までに、どのような効果をだすか。できるだけ指標と数値で記入) 生涯学習サークル(公民館グループ)の活動支援 地区公民館との連携促進 受益者負担という概念の普及

DO	
平成21年度事業の実績	(何を対象に、何をしたか) ○青少年教育事業…キッズ・エアロビクス(37回・延527人) 夏・春休み子ども体験教室(16回・延423人) ○成人教育事業…ハーブガーデン教室(16回・延540人)、パン・お菓子教室(16回・延277人) ○高齢者教育事業…高齢者大学(10教室 128回・延2,191人) ○文化芸術事業…みねやま写真展(出展者18人)
平成21年度事業の効果	(実績により、どのような効果があったか。できるだけ指標と数値で記入) 公民館講座を端緒とした自主運営サークルの誕生 (10グループ)

●平成21年度決算

予算科目	歳出		歳入		
	節	金額(千円)	項目	名称	金額(千円)
予算科目	1	1,998	財源内訳	国庫支出金	
	4	286		府支出金	
	8	832		起債	
	9	41		分担金・負担金	
	11	428		その他	社会教育事業参加費 371
	12	1			
	13	70	一般財源		3,285
事業費合計		3,656	合計		3,656

CHECK		
評価	目標達成度…DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)が、PLAN(事業の目的、あるいは平成26年度事業の効果目標)の達成に向けて順調に進捗したか	
	○ 進捗している(できている)	理由 市民との協働の成果である自主運営サークルの誕生
	○ ▲ 少し遅れている(少しできていない)	
	○ × 遅れている(できていない)	
効率性…DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)に対して、コスト削減の余地がなかったか		
○ 削減の余地がなかった	理由 可及的に市民(学習者)の理解と協力を得たため	
○ ▲ 少し削減の余地があった		
○ × 削減の余地があった		

ACTION			
改善	事業内容の方向性		
	A	A 現状維持	理由 生涯学習社会の実現のため
		B 内容の見直し	
		C 統廃合・休止・終了	
	事業規模の方向性		
	A	A 事業拡大	理由 生涯学習社会の実現のため
	B 現状維持		
	C 事業縮小		

平成22年度 事務事業評価

整理番号
21-10

平成21年度予算	会計名称	款	項	目	事業	細事業
	一般会計	10	05	02	04	01
細事業名		大宮地域公民館運営事業				

担当部局	教育委員会事務局
担当課等	社会教育課
担当課長の氏名	安達 忠行
担当者の氏名	水口 規宏

PLAN	
総合計画 (前期基本計画)	基本方針 (政策) IV 生涯学習都市 計画項目 (施策) ④ 社会教育・スポーツの充実 施策方針 1 社会教育体制の確立
事業の目的	(どのような目的で事業を実施するか) 生涯学習都市の実現のため、地域の生涯学習活動の拠点として、地域の課題に即した各種事業を実施するとともに、地区公民館の支援及び各種社会教育団体・地域指導者の育成を図る。 事業の目的 (平成26年度事業の効果目標) (平成26年度までに、どのような効果をだすか。できるだけ指標と数値で記入) 生涯学習サークル(公民館グループ)の活動支援 地区公民館との連携促進 受益者負担という概念の普及

DO	
平成21年度事業の実績	(何を対象に、何をしたか) ○青少年教育事業…わんぱくアウトドア(2回・計60人)、チャレンジウォーク(1回・16人)、夏の自然体験教室(2回・延47人) ○成人教育事業…フレッシュ歩こう会(1回・34人)、成人講座(3講座・延180人) ○女性教育事業…女性いきいき教室(3講座・延127人) ○高齢者教育事業…高齢者いきいき教室(5講座・延219人) ○家庭教育事業…親子ふれあい教室(3回・延98人)、教育講演会(1回・211人)
平成21年度事業の効果	(実績により、どのような効果があったか。できるだけ指標と数値で記入) 限られた予算、人員の中で、他の公民館と連携協力し、効率的に事業を実施することができた。

●平成21年度決算

予算科目	歳出		歳入	
	節	金額(千円)	項目	名称 金額(千円)
財源内訳	1	1,998	国庫支出金	
	4	286	府支出金	
	8	126	起債	
	9	28	分担金・負担金	
	11	92	その他	社会教育事業等参加 37
	12	21		
	13	37		
	14	93	一般財源	2,644
事業費合計		2,681	合計	2,681

CHECK	
評価	目標達成度…DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)が、PLAN(事業の目的、あるいは平成26年度事業の効果目標)の達成に向けて順調に進捗したか ○ 進捗している(できている) ○ ▲ 少し遅れている(少しできていない) 理由 予定していた事業はおおむね実施することができた。 ○ × 遅れている(できていない)
	効率性…DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)に対して、コスト削減の余地がなかったか ○ 削減の余地がなかった ○ ▲ 少し削減の余地があった 理由 限られた予算の中で、参加者負担や工夫により、最小限の費用で最大限の効果が得られるよう勤めた。 ○ × 削減の余地があった

ACTION	
改善	事業内容の方向性 B A 現状維持 B B 内容の見直し 理由 その時々地域の課題や地域のニーズに応じた事業内容とすることが必要である。 C 統廃合・休止・終了
	事業規模の方向性 A A 事業拡大 理由 地域課題やニーズに応じた事業実施のための見直しは必要であるが、地域課題やニーズに応じた事業を展開していくためには、事業拡大が必要である。 B 現状維持 C 事業縮小

平成22年度 事務事業評価

整理番号
21-11

平成21年度予算	会計名称	款	項	目	事業	細事業
	一般会計	10	05	02	05	01
細事業名		網野地域公民館運営事業				

担当部局	教育委員会事務局
担当課等	社会教育課
担当課長の氏名	安達 忠行
担当者の氏名	椋平 哲朗

PLAN	
総合計画 (前期基本計画)	基本方針 (政策) IV 生涯学習都市 計画項目 (施策) ④ 社会教育・スポーツの充実 施策方針 1 社会教育体制の確立
事業の目的	(どのような目的で事業を実施するか) 生涯学習都市の実現のため、地域の生涯学習活動の拠点として、地域の課題に即した各種事業を実施するとともに、地区公民館の支援及び各種社会教育団体・地域指導者の育成を図る。 事業の效果目標 (平成26年度までに、どのような効果をだすか。できるだけ指標と数値で記入) 公民館事業を通じて、市民がさまざまな知識や教養を身に付け、豊かな人間性と地域文化を育むとともに、市民の交流を促進し、学びあい、支えあう機運の醸成を図り、もって生涯学習のまちづくりを推進する。

DO	
平成21年度事業の実績	(何を対象に、何をしたか) ○青少年教育事業…ウイークエンド事業「レッツゴーユタッコ仲間」(12講座・延862人) ○成人教育事業…あみのウオーカー(105人)、琴引浜自然教室(16人) ○高齢者教育事業…高齢者大学(一般講座10回・延1,403人、趣味の講座11講座・242人) ○文化芸術事業…網野町ふれあいコンサート(約500人)
平成21年度事業の效果	(実績により、どのような効果があったか。できるだけ指標と数値で記入) 限られた財源、職員の中で、市民と協働しながら、幅広い事業に取り組み、多くの参加者を得ることができ、成果をあげることができた。

●平成21年度決算

予算科目	歳出		歳入	
	節	金額(千円)	項目	名称 金額(千円)
財源内訳	1	1,998	国庫支出金	
	4	286	府支出金	
	8	187	起債	
	9	18	分担金・負担金	
	11	129	その他	社会教育事業参加費 74
	12	19		
	13	197		
	14	336	一般財源	3,096
事業費合計		3,170	合計	3,170

CHECK				
評価	目標達成度…DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)が、PLAN(事業の目的、あるいは平成26年度事業の効果目標)の達成に向けて順調に進捗したか			
	<table border="1"> <tr> <td>○ 進捗している(できている)</td> <td rowspan="3">理由 予定していた事業をおおむね実施することができたため。</td> </tr> <tr> <td>○ ▲ 少し遅れている(少しできていない)</td> </tr> <tr> <td>○ × 遅れている(できていない)</td> </tr> </table>	○ 進捗している(できている)	理由 予定していた事業をおおむね実施することができたため。	○ ▲ 少し遅れている(少しできていない)
○ 進捗している(できている)	理由 予定していた事業をおおむね実施することができたため。			
○ ▲ 少し遅れている(少しできていない)				
○ × 遅れている(できていない)				
評価	効率性…DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)に対して、コスト削減の余地がなかったか			
	<table border="1"> <tr> <td>○ 削減の余地がなかった</td> <td rowspan="3">理由 無駄な経費の削減に努めるとともに、最大の効果が得られるよう配慮した。</td> </tr> <tr> <td>○ ▲ 少し削減の余地があった</td> </tr> <tr> <td>○ × 削減の余地があった</td> </tr> </table>	○ 削減の余地がなかった	理由 無駄な経費の削減に努めるとともに、最大の効果が得られるよう配慮した。	○ ▲ 少し削減の余地があった
○ 削減の余地がなかった	理由 無駄な経費の削減に努めるとともに、最大の効果が得られるよう配慮した。			
○ ▲ 少し削減の余地があった				
○ × 削減の余地があった				

ACTION		
改善	事業内容の方向性	
	A 現状維持	理由 その時々学習課題に対応した事業展開が必要と考える。
	B B 内容の見直し	
	C 統廃合・休止・終了	
	事業規模の方向性	
	A 事業拡大	理由 職員数から現状以上の業務量をこなすことは困難と思われる。
B B 現状維持		
C 事業縮小		

平成22年度 事務事業評価

整理番号
21-12

平成21年度予算	会計名称	款	項	目	事業	細事業
	一般会計	10	05	02	06	01
細事業名		丹後地域公民館運営事業				

担当部局	教育委員会事務局
担当課等	社会教育課
担当課長の氏名	安達 忠行
担当者の氏名	溝尻 美穂

PLAN	
総合計画 (前期基本計画)	基本方針 (政策) IV 生涯学習都市 計画項目 (施策) ④ 社会教育・スポーツの充実 施策方針 1 社会教育体制の確立
事業の目的	(どのような目的で事業を実施するか) 生涯学習都市の実現のため、地域の生涯学習活動の拠点として、地域の課題に即した各種事業を実施するとともに、地区公民館の支援及び各種社会教育団体・地域指導者の育成を図る。 事業の效果目標 (平成26年度までに、どのような効果をだすか。できるだけ指標と数値で記入) 市民が学習を通じて人格の形成を図るとともに、豊かな人間性の醸成をはかる。地区公民館との連携促進をはかる。

DO	
平成21年度事業の実績	(何を対象に、何をしたか) ○青少年教育事業…サバイバルキャンプ(2泊3日・30人)、少年少女意見発表会(1回・250人) ○成人教育事業…歩こう会(2回・延31人)、絵手紙講座(5回・46人) ○家庭教育事業…親子陶芸教室(2回・延36人) ○芸術文化事業…子ども作品展示(通年)
平成21年度事業の効果	(実績により、どのような効果があったか。できるだけ指標と数値で記入) 青少年教育、成人教育、女性教育、家庭教育、芸術文化教育などの公民館事業を通じて、市民のサークル活動の活性化が図られた。

●平成21年度決算

予算科目	歳出		歳入		
	節	金額(千円)	項目	名称	金額(千円)
財源内訳	1	1,998	国庫支出金		
	4	287	府支出金		
	8	48	起債		
	9	86	分担金・負担金		
	11	70	その他	社会教育事業参加費	21
	12	1			
	13	25			
事業費合計		2,515	一般財源		2,494
			合計		2,515

CHECK								
評価	目標達成度…DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)が、PLAN(事業の目的、あるいは平成26年度事業の効果目標)の達成に向けて順調に進捗したか							
	<table border="1"> <tr> <td>○</td> <td>進捗している(できている)</td> <td rowspan="3">理由</td> <td rowspan="3">予定していた事業をおおむね実施することができたため。</td> </tr> <tr> <td>▲</td> <td>少し遅れている(少しできていない)</td> </tr> <tr> <td>×</td> <td>遅れている(できていない)</td> </tr> </table>	○	進捗している(できている)	理由	予定していた事業をおおむね実施することができたため。	▲	少し遅れている(少しできていない)	×
○	進捗している(できている)	理由	予定していた事業をおおむね実施することができたため。					
▲	少し遅れている(少しできていない)							
×	遅れている(できていない)							
評価	効率性…DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)に対して、コスト削減の余地がなかったか							
	<table border="1"> <tr> <td>○</td> <td>削減の余地がなかった</td> <td rowspan="3">理由</td> <td rowspan="3">可能な限り経費節減に努めた。</td> </tr> <tr> <td>▲</td> <td>少し削減の余地があった</td> </tr> <tr> <td>×</td> <td>削減の余地があった</td> </tr> </table>	○	削減の余地がなかった	理由	可能な限り経費節減に努めた。	▲	少し削減の余地があった	×
○	削減の余地がなかった	理由	可能な限り経費節減に努めた。					
▲	少し削減の余地があった							
×	削減の余地があった							

ACTION			
改善	事業内容の方向性		
	A 現状維持	理由	市民の主体的な学習活動を支援し、活動の機会や交流の場を提供することにより、生涯学習の推進を図る。
	B 内容の見直し		
	C 統廃合・休止・終了		
	事業規模の方向性		
	A 事業拡大	理由	多様性を持たせた社会教育事業の継続と、個人の趣味・教養の範囲に留まる活動についての参加者自主運営化。
B 現状維持			
C 事業縮小			

平成22年度 事務事業評価

整理番号
21-13

平成21年度予算	会計名称	款	項	目	事業	細事業
	一般会計	10	05	02	07	01
細事業名		弥栄地域公民館運営事業				

担当部局	教育委員会事務局
担当課等	社会教育課
担当課長の氏名	安達 忠行
担当者の氏名	大槻 秀明

PLAN	
総合計画 (前期基本計画)	基本方針 (政策) IV 生涯学習都市 計画項目 (施策) ④ 社会教育・スポーツの充実 施策方針 1 社会教育体制の確立
事業の目的	(どのような目的で事業を実施するか) 生涯学習都市の実現のため、地域の生涯学習活動の拠点として、地域の課題に即した各種事業を実施するとともに、地区公民館の支援及び各種社会教育団体・地域指導者の育成を図る。 事業の效果目標 (平成26年度までに、どのような効果をだすか。できるだけ指標と数値で記入) 生涯学習サークル(公民館グループ)の活動支援 地区公民館との連携促進 受益者負担という概念の普及

DO	
平成21年度事業の実績	(何を対象に、何をしたか) ○青少年事業…やさか探検隊(3回・延68人)、スターウォッチング(1回・74人) ○成人教育事業…囲碁入門講座(10回・延117人)、詩吟講座(5回・延69人)、剪定講座(4回・延69人) ○女性教育事業…地区女性講座(4回・延39人)、布花講座(4回・延38人)、手作りおやつ講座(4回・延44人)、お正月飾り講座(2回・29人) ○家庭教育事業…親子料理教室(1回・21人)
平成21年度事業の効果	(実績により、どのような効果があったか。できるだけ指標と数値で記入) 青少年教育、成人教育、女性教育、家庭教育、芸術文化教育などの公民館事業を通じて、市民のサークル活動の活性化が図られた。 公民館講座を端緒とした自主運営サークルの誕生(布花サークル)

●平成21年度決算

予算科目	歳出		歳入		
	節	金額(千円)	項目	名称	金額(千円)
予算科目	1	1,998	財源内訳	国庫支出金	
	4	286		府支出金	
	8	144		起債	
	9	39		分担金・負担金	
	11	27		その他	社会教育事業参加費 38
	12	23			
	13	28			
	14	80	一般財源		2,587
事業費合計		2,625	合計		2,625

CHECK								
評価	目標達成度…DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)が、PLAN(事業の目的、あるいは平成26年度事業の効果目標)の達成に向けて順調に進捗したか							
	<table border="1"> <tr> <td>○</td> <td>進捗している(できている)</td> <td rowspan="3">理由</td> <td rowspan="3">市民との協働の成果である自主運営サークルの誕生</td> </tr> <tr> <td>▲</td> <td>少し遅れている(少しできていない)</td> </tr> <tr> <td>×</td> <td>遅れている(できていない)</td> </tr> </table>	○	進捗している(できている)	理由	市民との協働の成果である自主運営サークルの誕生	▲	少し遅れている(少しできていない)	×
○	進捗している(できている)	理由	市民との協働の成果である自主運営サークルの誕生					
▲	少し遅れている(少しできていない)							
×	遅れている(できていない)							
評価	効率性…DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)に対して、コスト削減の余地がなかったか							
	<table border="1"> <tr> <td>○</td> <td>削減の余地がなかった</td> <td rowspan="3">理由</td> <td rowspan="3">可及的に市民(学習者)の理解と協力を得たため</td> </tr> <tr> <td>▲</td> <td>少し削減の余地があった</td> </tr> <tr> <td>×</td> <td>削減の余地があった</td> </tr> </table>	○	削減の余地がなかった	理由	可及的に市民(学習者)の理解と協力を得たため	▲	少し削減の余地があった	×
○	削減の余地がなかった	理由	可及的に市民(学習者)の理解と協力を得たため					
▲	少し削減の余地があった							
×	削減の余地があった							

ACTION				
改善	事業内容の方向性			
	A	A 現状維持	理由	生涯学習社会の実現のため
		B 内容の見直し		
		C 統廃合・休止・終了		
	事業規模の方向性			
	A	A 事業拡大	理由	生涯学習社会の実現のため
B 現状維持				
C 事業縮小				

平成22年度 事務事業評価

整理番号
21-14

平成21年度予算	会計名称	款	項	目	事業	細事業
	一般会計	10	05	02	08	01
細事業名		久美浜地域公民館運営事業				

担当部局	教育委員会事務局
担当課等	社会教育課
担当課長の氏名	安達 忠行
担当者の氏名	永井 千裕

PLAN	
総合計画 (前期基本計画)	基本方針 (政策) IV 生涯学習都市 計画項目 (施策) ④ 社会教育・スポーツの充実 施策方針 1 社会教育体制の確立
事業の目的	(どのような目的で事業を実施するか) 生涯学習都市の実現のため、地域の生涯学習活動の拠点として、地域の課題に即した各種事業を実施するとともに、地区公民館の支援及び各種社会教育団体・地域指導者の育成を図る。 平成26年度事業の効果目標 (平成26年度までに、どのような効果をだすか。できるだけ指標と数値で記入) 市民の身近な場での学習及び交流の機会を継続する。地区公民館との連携を強化し、地域の公民館活動の活性化を図る。

DO	
平成21年度事業の実績	(何を対象に、何をしたか) ○青少年教育事業…ふるさと再発見未来塾(3回・延べ39人)、子どもサバイバルキャンプ(2泊3日・30人)、子どもの主張発表大会(1回・150人)、青少年育成市民のつどい(1回・90人) ○成人教育事業…からだにいいことしま専科(3回・16人) ○女性教育事業…絵手紙教室(5回・延100人) ○高齢者教育事業…ゆったりバランス体操教室(5回・延156人) ○家庭教育事業…親子ふるさと教室(4回・延54人)、子育て講演会(1回・112人)
平成21年度事業の効果	(実績により、どのような効果があったか。できるだけ指標と数値で記入) 地域住民に対して、学習及び交流の機会を提供することにより、教養の向上、健康の増進、生きがいづくり、住民間の交流を活発にすることが出来た。

●平成21年度決算

予算科目	歳出		歳入		
	節	金額(千円)	項目	名称	金額(千円)
予算科目	1	1,998	財源内訳	国庫支出金	
	4	286		府支出金	
	8	152		起債	
	9	56		分担金・負担金	
	11	62		その他	
	12	32			
	13	20			
	14	183	一般財源		2,789
事業費合計		2,789	合計		2,789

CHECK								
評価	目標達成度…DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)が、PLAN(事業の目的、あるいは平成26年度事業の効果目標)の達成に向けて順調に進捗したか							
	<table border="1"> <tr> <td>○</td> <td>進捗している(できている)</td> <td rowspan="3">理由</td> <td rowspan="3">計画した事業を概ね実施することが出来た。</td> </tr> <tr> <td>▲</td> <td>少し遅れている(少しできていない)</td> </tr> <tr> <td>×</td> <td>遅れている(できていない)</td> </tr> </table>	○	進捗している(できている)	理由	計画した事業を概ね実施することが出来た。	▲	少し遅れている(少しできていない)	×
○	進捗している(できている)	理由	計画した事業を概ね実施することが出来た。					
▲	少し遅れている(少しできていない)							
×	遅れている(できていない)							
評価	効率性…DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)に対して、コスト削減の余地がなかったか							
	<table border="1"> <tr> <td>○</td> <td>削減の余地がなかった</td> <td rowspan="3">理由</td> <td rowspan="3">事業内容によっては、参加者にも一部費用の負担をしていただくなど、最小限の経費で事業を行うよう努めた。</td> </tr> <tr> <td>▲</td> <td>少し削減の余地があった</td> </tr> <tr> <td>×</td> <td>削減の余地があった</td> </tr> </table>	○	削減の余地がなかった	理由	事業内容によっては、参加者にも一部費用の負担をしていただくなど、最小限の経費で事業を行うよう努めた。	▲	少し削減の余地があった	×
○	削減の余地がなかった	理由	事業内容によっては、参加者にも一部費用の負担をしていただくなど、最小限の経費で事業を行うよう努めた。					
▲	少し削減の余地があった							
×	削減の余地があった							

ACTION			
改善	事業内容の方向性		
	A 現状維持	理由	その時々々の学習課題、住民のニーズに対応した事業内容を実施していく必要がある。
	B 内容の見直し		
	C 統廃合・休止・終了		
	事業規模の方向性		
	A 事業拡大	理由	より多くの住民に生涯学習の機会を保障していくため。
B 現状維持			
C 事業縮小			

平成22年度 事務事業評価

整理番号
21-15

平成21年度予算	会計名称	款	項	目	事業	細事業
	一般会計	10	05	02	02	01
細事業名		地区公民館管理運営事業				

担当部局	教育委員会事務局
担当課等	社会教育課
担当課長の氏名	安達 忠行
担当者の氏名	椋平 哲朗

PLAN	
総合計画 (前期基本計画)	基本方針 (政策) IV 生涯学習都市 計画項目 (施策) ④ 社会教育・スポーツの充実 施策方針 1 社会教育体制の確立
事業の目的	(どのような目的で事業を実施するか) 地区公民館を設置し、市民の身近な場での地域課題等の学習機会及び市民交流の場を提供する。また、市有の地区公民館施設の維持管理する。 事業の目的 (平成26年度までに、どのような効果をだすか。できるだけ指標と数値で記入) 公民館事業を通じて、市民がさまざまな知識や教養を身に付け、豊かな人間性と地域文化を育むとともに、市民の交流を促進し、学びあい、支えあう機運の醸成を図り、もって生涯学習のまちづくりを推進する。

DO	
平成21年度事業の実績	(何を対象に、何をしたか) 各地区公民館が、対象地域の市民を対象に、地域課題に対応した学習機会の提供及び市民交流事業を実施した。また、市有の地区公民館施設を維持管理した。
平成21年度事業の効果	(実績により、どのような効果があったか。できるだけ指標と数値で記入) 地域の課題に即した学習活動等、特色ある地区公民館活動が展開できた。地域住民の交流が促進され、地域のきずなが深まった。市有の地区公民館を維持管理した。

●平成21年度決算

予算科目	歳出		歳入		
	節	金額(千円)	項目	名称	金額(千円)
予算科目	1	18,040	国庫支出金		
	8	1,056	府支出金		
	9	109	起債		
	11	1,592	分担金・負担金	網野、新庄地区公民	74
	12	117	その他		
	13	776			
	14	4			
事業費合計	18,19	21,882	一般財源		43,502
		43,576	合計		43,576

CHECK					
評価	目標達成度・・・DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)が、PLAN(事業の目的、あるいは平成26年度事業の効果目標)の達成に向けて順調に進捗したか				
	<table border="1"> <tr> <td>○ 進捗している(できている)</td> <td rowspan="3">理由</td> <td rowspan="3">計画されていた事業がおおむね実施されていると認められるため。</td> </tr> <tr> <td>▲ 少し遅れている(少しできていない)</td> </tr> <tr> <td>× 遅れている(できていない)</td> </tr> </table>	○ 進捗している(できている)	理由	計画されていた事業がおおむね実施されていると認められるため。	▲ 少し遅れている(少しできていない)
○ 進捗している(できている)	理由	計画されていた事業がおおむね実施されていると認められるため。			
▲ 少し遅れている(少しできていない)					
× 遅れている(できていない)					
評価	効率性・・・DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)に対して、コスト削減の余地がなかったか				
	<table border="1"> <tr> <td>○ 削減の余地がなかった</td> <td rowspan="3">理由</td> <td rowspan="3">限られた財源を有効に活用して事業が実施されたものと認められるため。</td> </tr> <tr> <td>▲ 少し削減の余地があった</td> </tr> <tr> <td>× 削減の余地があった</td> </tr> </table>	○ 削減の余地がなかった	理由	限られた財源を有効に活用して事業が実施されたものと認められるため。	▲ 少し削減の余地があった
○ 削減の余地がなかった	理由	限られた財源を有効に活用して事業が実施されたものと認められるため。			
▲ 少し削減の余地があった					
× 削減の余地があった					

ACTION			
改善	事業内容の方向性		
	A 現状維持	理由	身近な社会教育機関として、今後とも必要である。
	B 内容の見直し		
	C 統廃合・休止・終了		
	事業規模の方向性		
	B 現状維持	理由	身近な社会教育機関として、今後とも必要である。
A 事業拡大			
C 事業縮小			

平成22年度 事務事業評価

整理番号
21-16

平成21年度予算	会計名称	款	項	目	事業	細事業
	一般会計	10	06	01	01	01
細事業名		体育指導委員活動事業				

担当部局	教育委員会事務局
担当課等	社会教育課
担当課長の氏名	安達 忠行
担当者の氏名	鶴原 義和

PLAN	
総合計画 (前期基本計画)	基本方針 (政策) IV 生涯学習都市 計画項目 (施策) ④ 社会教育・スポーツの充実 施策方針 1 社会教育体制の確立
事業の目的	(どのような目的で事業を実施するか) 地域住民へのスポーツの実技指導及び助言、また地域でのスポーツを通じた様々な活動のコーディネーター役となるよう体育指導委員の資質向上を図る。 事業の効果目標 (平成26年度までに、どのような効果をだすか。できるだけ指標と数値で記入) 体育指導委員の資質の更なる向上 スポーツ実施率を50%に近づける

DO	
平成21年度事業の実績	(何を対象に、何をしたか) 普及推進種目(ファミリーバドミントン、きばれえ、ペタンク)の体育指導委員向け講習会を行った。(計6回) 京都府体育指導委員研究大会、近畿体育指導委員研究協議会、京都府体育指導委員協議会地区別事業へ参加し資質向上に努めた。住民向けのニュースポーツ講習会、大会を開催した。
平成21年度事業の効果	(実績により、どのような効果があったか。できるだけ指標と数値で記入) 体育指導委員対象の研修会には、延179人の参加

●平成21年度決算

予算科目	歳出		歳入		
	節	金額(千円)	項目	名称	金額(千円)
財源内訳	1	2,838	国庫支出金		
	9	728	府支出金		
	11	23	起債		
	12	94	分担金・負担金		
	13	52	その他		
	14	6			
	19	98			
事業費合計		3,839	一般財源		3,839
			合計		3,839

CHECK					
評価	目標達成度・・・DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)が、PLAN(事業の目的、あるいは平成26年度事業の効果目標)の達成に向けて順調に進捗したか				
	<table border="1"> <tr> <td>○ 進捗している(できている)</td> <td rowspan="3">理由</td> <td rowspan="3">各地域で普及推進種目を中心としたニュースポーツの普及を図るため、教室や大会等を開催するとともに、研修等に参加し日々の活動に生かした。</td> </tr> <tr> <td>▲ 少し遅れている(少しできていない)</td> </tr> <tr> <td>× 遅れている(できていない)</td> </tr> </table>	○ 進捗している(できている)	理由	各地域で普及推進種目を中心としたニュースポーツの普及を図るため、教室や大会等を開催するとともに、研修等に参加し日々の活動に生かした。	▲ 少し遅れている(少しできていない)
○ 進捗している(できている)	理由	各地域で普及推進種目を中心としたニュースポーツの普及を図るため、教室や大会等を開催するとともに、研修等に参加し日々の活動に生かした。			
▲ 少し遅れている(少しできていない)					
× 遅れている(できていない)					
評価	効率性・・・DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)に対して、コスト削減の余地がなかったか				
	<table border="1"> <tr> <td>○ 削減の余地がなかった</td> <td rowspan="3">理由</td> <td rowspan="3">体育指導委員の資質向上及び円滑な活動を行うために必要な経費である。</td> </tr> <tr> <td>▲ 少し削減の余地があった</td> </tr> <tr> <td>× 削減の余地があった</td> </tr> </table>	○ 削減の余地がなかった	理由	体育指導委員の資質向上及び円滑な活動を行うために必要な経費である。	▲ 少し削減の余地があった
○ 削減の余地がなかった	理由	体育指導委員の資質向上及び円滑な活動を行うために必要な経費である。			
▲ 少し削減の余地があった					
× 削減の余地があった					

ACTION								
改善	事業内容の方向性							
	<table border="1"> <tr> <td>A</td> <td>A 現状維持</td> <td rowspan="3">理由</td> <td rowspan="3">日常的に運動していない人に、いかに習慣的に運動してもらうかが課題であり、そのきっかけ作りに今後ますます教室活動等を充実させ、一人でも多くの人にスポーツのできる機会の場を提供していく必要がある。</td> </tr> <tr> <td>B</td> <td>B 内容の見直し</td> </tr> <tr> <td>C</td> <td>C 統廃合・休止・終了</td> </tr> </table>	A	A 現状維持	理由	日常的に運動していない人に、いかに習慣的に運動してもらうかが課題であり、そのきっかけ作りに今後ますます教室活動等を充実させ、一人でも多くの人にスポーツのできる機会の場を提供していく必要がある。	B	B 内容の見直し	C
A	A 現状維持	理由	日常的に運動していない人に、いかに習慣的に運動してもらうかが課題であり、そのきっかけ作りに今後ますます教室活動等を充実させ、一人でも多くの人にスポーツのできる機会の場を提供していく必要がある。					
B	B 内容の見直し							
C	C 統廃合・休止・終了							
改善	事業規模の方向性							
	<table border="1"> <tr> <td>B</td> <td>A 事業拡大</td> <td rowspan="3">理由</td> <td rowspan="3">体育指導委員の人数は、当分の間現状を維持していくのが良いと思われるが、市内全域で各種スポーツ教室等を開催していく上で、体育指導委員の指導力の更なる向上を図る。</td> </tr> <tr> <td>B</td> <td>B 現状維持</td> </tr> <tr> <td>C</td> <td>C 事業縮小</td> </tr> </table>	B	A 事業拡大	理由	体育指導委員の人数は、当分の間現状を維持していくのが良いと思われるが、市内全域で各種スポーツ教室等を開催していく上で、体育指導委員の指導力の更なる向上を図る。	B	B 現状維持	C
B	A 事業拡大	理由	体育指導委員の人数は、当分の間現状を維持していくのが良いと思われるが、市内全域で各種スポーツ教室等を開催していく上で、体育指導委員の指導力の更なる向上を図る。					
B	B 現状維持							
C	C 事業縮小							

平成22年度 事務事業評価

整理番号
21-17

平成21年度予算	会計名称	款	項	目	事業	細事業
	一般会計	10	06	01	03	01
細事業名		社会体育団体育成事業				

担当部局	教育委員会事務局
担当課等	社会教育課
担当課長の氏名	安達 忠行
担当者の氏名	久保 和明

PLAN	
総合計画 (前期基本計画)	基本方針 (政策) IV 生涯学習都市 計画項目 (施策) ④ 社会教育・スポーツの充実 施策方針 1 社会教育体制の確立
事業の目的	(どのような目的で事業を実施するか) 市内の各種スポーツ団体へ補助金を交付することにより、市民へのスポーツの普及と振興を図るとともにスポーツ団体を育成する。 事業の目的 (平成26年度までに、どのような効果をだすか。できるだけ指標と数値で記入) 支援団体の安定的な運営を確保する

DO	
平成21年度事業の実績	(何を対象に、何をしたか) 市のスポーツ・体育振興の中心組織である京丹後市体育協会に支援を行うとともに、15,235,000円の補助金を交付した。網野ジュニアスポーツ協会についてもジュニアの育成及び青少年健全育成等の観点から支援を行うとともに、1,342,000円の補助金を交付した。また、スポーツ振興及び地域住民の健康づくり等を目的に平成19年度に発足した網野スポーツクラブへの補助を行った。
平成21年度事業の効果	(実績により、どのような効果があったか。できるだけ指標と数値で記入) 京丹後市体育協会では6つの支部が運営する事業のほか、市全域を対象とした競技大会が実施できた。網野ジュニアスポーツ協会では、22団体が活動できた。網野スポーツクラブは、21教室が運営された。

●平成21年度決算

予算科目	歳出		歳入		
	節	金額(千円)	項目	名称	金額(千円)
	19	16,982	国庫支出金		
			府支出金		
			起債		
			分担金・負担金		
			その他		
			一般財源		16,982
事業費合計		16,982	合計		16,982

CHECK					
評価	目標達成度・・・DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)が、PLAN(事業の目的、あるいは平成26年度事業の効果目標)の達成に向けて順調に進捗したか				
	<table border="1"> <tr> <td>○ 進捗している(できている)</td> <td rowspan="3">理由</td> <td rowspan="3">市内の各スポーツ団体の育成、各種教室及び大会の自主運営など、市民がスポーツに親しむ機会を提供するなど、市のスポーツ振興を担い、幅広い年代層にスポーツ活動の普及に寄与している。</td> </tr> <tr> <td>▲ 少し遅れている(少しできていない)</td> </tr> <tr> <td>× 遅れている(できていない)</td> </tr> </table>	○ 進捗している(できている)	理由	市内の各スポーツ団体の育成、各種教室及び大会の自主運営など、市民がスポーツに親しむ機会を提供するなど、市のスポーツ振興を担い、幅広い年代層にスポーツ活動の普及に寄与している。	▲ 少し遅れている(少しできていない)
○ 進捗している(できている)	理由	市内の各スポーツ団体の育成、各種教室及び大会の自主運営など、市民がスポーツに親しむ機会を提供するなど、市のスポーツ振興を担い、幅広い年代層にスポーツ活動の普及に寄与している。			
▲ 少し遅れている(少しできていない)					
× 遅れている(できていない)					
評価	効率性・・・DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)に対して、コスト削減の余地がなかったか				
	<table border="1"> <tr> <td>○ 削減の余地がなかった</td> <td rowspan="3">理由</td> <td rowspan="3">いずれの支援団体も、自主財源を持っていないため現段階では困難である。</td> </tr> <tr> <td>▲ 少し削減の余地があった</td> </tr> <tr> <td>× 削減の余地があった</td> </tr> </table>	○ 削減の余地がなかった	理由	いずれの支援団体も、自主財源を持っていないため現段階では困難である。	▲ 少し削減の余地があった
○ 削減の余地がなかった	理由	いずれの支援団体も、自主財源を持っていないため現段階では困難である。			
▲ 少し削減の余地があった					
× 削減の余地があった					

ACTION			
改善	事業内容の方向性		
	A 現状維持	理由	地域のスポーツ活動を支える、各種団体への支援は必要である。
	B 内容の見直し		
	C 統廃合・休止・終了		
	事業規模の方向性		
	B 現状維持	理由	市の財政が厳しい中ではあるが、団体を支援することを通じて、市民がスポーツに親しむ環境を整えることは、重要である。
A 事業拡大			
C 事業縮小			

平成22年度 事務事業評価

整理番号
21-18

平成21年度予算	会計名称	款	項	目	事業	細事業
	一般会計	10	06	02	01	01
細事業名		京都府民総合体育大会事業				

担当部局	教育委員会事務局
担当課等	社会教育課
担当課長の氏名	安達 忠行
担当者の氏名	久保 和明

PLAN	
総合計画 (前期基本計画)	基本方針 (政策) IV 生涯学習都市 計画項目 (施策) ④ 社会教育・スポーツの充実 施策方針 1 社会教育体制の確立
事業の目的	(どのような目的で事業を実施するか) 京都府民総合体育大会へ、京丹後市の代表選手を派遣し、府内各地の代表選手と競い合うことにより、競技力の向上を目指す。上位の成績を目指すことで京丹後市の体育振興及び、京丹後市のPRともなる。 事業の目的 (平成26年度事業の効果目標) (平成26年度までに、どのような効果をだすか。できるだけ指標と数値で記入) 参加選手の増加と、成績の向上

DO	
平成21年度事業の実績	(何を対象に、何をしたか) 第32回京都府民総合体育大会への選手団の派遣のため、京丹後市体育協会へ160万円の補助金を交付した。
平成21年度事業の効果	(実績により、どのような効果があったか。できるだけ指標と数値で記入) 20競技に参加し、総合6位に入賞することができた。

●平成21年度決算

予算科目	歳出		歳入			
	節	金額(千円)	項目	名称	金額(千円)	
事業費合計	9	2	財源内訳	国庫支出金		
	19	1,600		府支出金		
				起債		
				分担金・負担金		
				その他		
				一般財源		1,602
				合計		1,602

CHECK		
評価	目標達成度・・・DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)が、PLAN(事業の目的、あるいは平成26年度事業の効果目標)の達成に向けて順調に進捗したか	
	○ 進捗している(できている)	理由 各競技で好成績を収めることができ、20年度の8位入賞から6位入賞へと着実に成績を向上させることができた。
	▲ 少し遅れている(少しできていない)	
	× 遅れている(できていない)	
効率性・・・DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)に対して、コスト削減の余地がなかったか		
○ 削減の余地がなかった	理由 20年度より、ユニフォーム購入補助をなくし、選手派遣補助のみとなっている。	
▲ 少し削減の余地があった		
× 削減の余地があった		

ACTION		
改善	事業内容の方向性	
	A 現状維持	理由 大会に参加し、代表選手が府内におけるスポーツレベルを認識し、京丹後市の競技力向上へつなげるために必要である。
	B 内容の見直し	
	C 統廃合・休止・終了	
	事業規模の方向性	
	A 事業拡大	理由 22年度より、ゴルフが正式種目となるため、派遣選手の増加が見込まれるため。
B 現状維持		
C 事業縮小		

平成22年度 事務事業評価

整理番号
21-19

平成21年度予算	会計名称	款	項	目	事業	細事業
	一般会計	10	06	02	02	01
細事業名		市民体育大会事業				

担当部局	教育委員会事務局
担当課等	社会教育課
担当課長の氏名	安達 忠行
担当者の氏名	久保 和明

PLAN	
総合計画 (前期基本計画)	基本方針 (政策) IV 生涯学習都市 計画項目 (施策) ④ 社会教育・スポーツの充実 施策方針 1 社会教育体制の確立
事業の目的	(どのような目的で事業を実施するか) 京丹後市体育大会を開催することにより、市内のスポーツ活動の振興を行う他、スポーツを通して、市内各地の市民が競技選手として交流することで、京丹後市の活性化を図る。 事業の継続と競技参加者の増加 平成26年度事業の効果目標 (平成26年度までに、どのような効果をだすか。できるだけ指標と数値で記入)

DO	
平成21年度事業の実績	(何を対象に、何をしたか) 第5回京丹後市総合体育大会の実施のため、京丹後市体育協会へ330万円の補助金を交付した。
平成21年度事業の効果	(実績により、どのような効果があったか。できるだけ指標と数値で記入) 17競技、24種目で実施され、2035人の参加者があった。

●平成21年度決算

予算科目	歳出		歳入		
	節	金額(千円)	項目	名称	金額(千円)
	19	3,300	国庫支出金		
			府支出金		
			起債		
			分担金・負担金		
			その他		
			一般財源		3,300
事業費合計		3,300	合計		3,300

CHECK							
評価	目標達成度・・・DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)が、PLAN(事業の目的、あるいは平成26年度事業の効果目標)の達成に向けて順調に進捗したか						
	<table border="1"> <tr> <td>○</td> <td>進捗している(できている)</td> <td rowspan="3">理由 京丹後市のスポーツ事業のうち、メイン行事として定着している。前回に比べ参加者も増加(+82人)した。</td> </tr> <tr> <td>▲</td> <td>少し遅れている(少しできていない)</td> </tr> <tr> <td>×</td> <td>遅れている(できていない)</td> </tr> </table>	○	進捗している(できている)	理由 京丹後市のスポーツ事業のうち、メイン行事として定着している。前回に比べ参加者も増加(+82人)した。	▲	少し遅れている(少しできていない)	×
○	進捗している(できている)	理由 京丹後市のスポーツ事業のうち、メイン行事として定着している。前回に比べ参加者も増加(+82人)した。					
▲	少し遅れている(少しできていない)						
×	遅れている(できていない)						
評価	効率性・・・DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)に対して、コスト削減の余地がなかったか						
	<table border="1"> <tr> <td>○</td> <td>削減の余地がなかった</td> <td rowspan="3">理由 大会運営については、現在でも切り詰めた状態で運営されている。削減の余地はないものとする。</td> </tr> <tr> <td>▲</td> <td>少し削減の余地があった</td> </tr> <tr> <td>×</td> <td>削減の余地があった</td> </tr> </table>	○	削減の余地がなかった	理由 大会運営については、現在でも切り詰めた状態で運営されている。削減の余地はないものとする。	▲	少し削減の余地があった	×
○	削減の余地がなかった	理由 大会運営については、現在でも切り詰めた状態で運営されている。削減の余地はないものとする。					
▲	少し削減の余地があった						
×	削減の余地があった						

ACTION							
改善	事業内容の方向性						
	<table border="1"> <tr> <td>A</td> <td>A 現状維持</td> <td rowspan="3">理由 合併以前から通算すれば、55回を数える大会である。京丹後市全域のスポーツ選手が集う総合体育大会であり、今後も継続する必要がある。</td> </tr> <tr> <td></td> <td>B 内容の見直し</td> </tr> <tr> <td></td> <td>C 統廃合・休止・終了</td> </tr> </table>	A	A 現状維持	理由 合併以前から通算すれば、55回を数える大会である。京丹後市全域のスポーツ選手が集う総合体育大会であり、今後も継続する必要がある。		B 内容の見直し	
A	A 現状維持	理由 合併以前から通算すれば、55回を数える大会である。京丹後市全域のスポーツ選手が集う総合体育大会であり、今後も継続する必要がある。					
	B 内容の見直し						
	C 統廃合・休止・終了						
改善	事業規模の方向性						
	<table border="1"> <tr> <td>B</td> <td>A 事業拡大</td> <td rowspan="3">理由 京丹後市のスポーツ事業のメインとなる事業である。今後も維持する必要がある。</td> </tr> <tr> <td></td> <td>B 現状維持</td> </tr> <tr> <td></td> <td>C 事業縮小</td> </tr> </table>	B	A 事業拡大	理由 京丹後市のスポーツ事業のメインとなる事業である。今後も維持する必要がある。		B 現状維持	
B	A 事業拡大	理由 京丹後市のスポーツ事業のメインとなる事業である。今後も維持する必要がある。					
	B 現状維持						
	C 事業縮小						

平成22年度 事務事業評価

整理番号
21-20

平成21年度予算	会計名称	款	項	目	事業	細事業
	一般会計	10	06	02	03	01
細事業名		地域スポーツ振興事業				

担当部局	教育委員会事務局
担当課等	社会教育課
担当課長の氏名	安達 忠行
担当者の氏名	鶴原 義和

PLAN	
総合計画 (前期基本計画)	基本方針 (政策) IV 生涯学習都市 計画項目 (施策) ④ 社会教育・スポーツの充実 施策方針 1 社会教育体制の確立
事業の目的	(どのような目的で事業を実施するか) 市民の健康づくりや、スポーツを通じた住民間・地域間の交流機会の拡充、そして地域力の活性化を図る。 事業の目的 (平成26年度までに、どのような効果をだすか。できるだけ指標と数値で記入) 教室、大会への参加者を増やし、スポーツ実施率を50%に近づける。
平成26年度事業の効果目標	

DO	
平成21年度事業の実績	(何を対象に、何をしたか) 子どもから高齢者まで誰もが気軽にスポーツや体力づくり活動を行えるよう、地域の特性を生かしたスポーツ教室や大会などの事業を実施した。また、網野スポーツ祭、あみの八丁浜ロードレース大会への補助金を交付し、財政支援を行った。
平成21年度事業の効果	(実績により、どのような効果があったか。できるだけ指標と数値で記入) 体育指導委員と連携し、住民向けの講習会を146回開催した。(参加者約2,000人) ニュースポーツ交流大会には、58チームの参加があった。

●平成21年度決算

予算科目	歳出		歳入		
	節	金額(千円)	項目	名称	金額(千円)
財源内訳	8	286	国庫支出金		
	11	513	府支出金		
	12	1	起債		
	13	2,535	分担金・負担金		
	14	36	その他		
	19	1,337			
事業費合計		4,708	一般財源		4,708
			合計		4,708

CHECK					
評価	目標達成度・・・DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)が、PLAN(事業の目的、あるいは平成26年度事業の効果目標)の達成に向けて順調に進捗したか				
	<table border="1"> <tr> <td>○ 進捗している(できている)</td> <td rowspan="3">理由</td> <td rowspan="3">誰もが気軽に楽しむことができるニュースポーツや地域の特性を生かした教室や大会等を実施し、市民の体力・健康・生きがい作りの機会拡充に繋がった。</td> </tr> <tr> <td>▲ 少し遅れている(少しできていない)</td> </tr> <tr> <td>× 遅れている(できていない)</td> </tr> </table>	○ 進捗している(できている)	理由	誰もが気軽に楽しむことができるニュースポーツや地域の特性を生かした教室や大会等を実施し、市民の体力・健康・生きがい作りの機会拡充に繋がった。	▲ 少し遅れている(少しできていない)
○ 進捗している(できている)	理由	誰もが気軽に楽しむことができるニュースポーツや地域の特性を生かした教室や大会等を実施し、市民の体力・健康・生きがい作りの機会拡充に繋がった。			
▲ 少し遅れている(少しできていない)					
× 遅れている(できていない)					
評価	効率性・・・DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)に対して、コスト削減の余地がなかったか				
	<table border="1"> <tr> <td>○ 削減の余地がなかった</td> <td rowspan="3">理由</td> <td rowspan="3">各種教室や講習会、大会を開催するにあたり必要な経費である。</td> </tr> <tr> <td>▲ 少し削減の余地があった</td> </tr> <tr> <td>× 削減の余地があった</td> </tr> </table>	○ 削減の余地がなかった	理由	各種教室や講習会、大会を開催するにあたり必要な経費である。	▲ 少し削減の余地があった
○ 削減の余地がなかった	理由	各種教室や講習会、大会を開催するにあたり必要な経費である。			
▲ 少し削減の余地があった					
× 削減の余地があった					

ACTION			
改善	事業内容の方向性		
	A 現状維持	理由	地域のスポーツ活動を推進し、誰もが気軽にスポーツに親しめるきっかけづくりとして、スポーツ教室や大会開催は有効であると思われる。
	B 内容の見直し		
	C 統廃合・休止・終了		
	事業規模の方向性		
	B 現状維持	理由	地域の特性に応じた事業と、市全域で取り組む事業を引続き実施し、スポーツ実施率の向上を図る。
A 事業拡大			
C 事業縮小			

平成22年度 事務事業評価

整理番号
21-21

平成21年度予算	会計名称	款	項	目	事業	細事業
	一般会計	10	06	02	04	01
細事業名		青少年スポーツ教室事業				

担当部局	教育委員会事務局
担当課等	社会教育課
担当課長の氏名	安達 忠行
担当者の氏名	久保 和明

PLAN	
総合計画 (前期基本計画)	基本方針 (政策) IV 生涯学習都市 計画項目 (施策) ④ 社会教育・スポーツの充実 施策方針 1 社会教育体制の確立
事業の目的	(どのような目的で事業を実施するか) 青少年のスポーツ競技力・運動能力の向上を図るとともに、健全育成を目指す。 事業の継続と、教室数の拡大 平成26年度事業の効果目標 (平成26年度までに、どのような効果をだすか。できるだけ指標と数値で記入)

DO	
平成21年度事業の実績	(何を対象に、何をしたか) 地域に根ざした様々なスポーツ教室を実施した。その指導者へ謝金を支払った(月額4,500円)を支払った。
平成21年度事業の効果	(実績により、どのような効果があったか。できるだけ指標と数値で記入) 市内で59のスポーツ教室を実施し、児童のスポーツ競技力、体力の向上及び健全育成を与した。

●平成21年度決算

予算科目	歳出		歳入		
	節	金額(千円)	項目	名称	金額(千円)
事業費合計	8	3,155	財源内訳	国庫支出金	
	11	18		府支出金	
				起債	
				分担金・負担金	
				その他	
				一般財源	3,173
				合計	3,173
	事業費合計	3,173			

CHECK					
評価	目標達成度・・・DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)が、PLAN(事業の目的、あるいは平成26年度事業の効果目標)の達成に向けて順調に進捗したか				
	<table border="1"> <tr> <td>○ 進捗している(できている)</td> <td rowspan="3">理由</td> <td rowspan="3">小学生の段階からスポーツに親しむことで、スポーツ競技力、体力の向上、及び健全育成が図られる。</td> </tr> <tr> <td>▲ 少し遅れている(少しできていない)</td> </tr> <tr> <td>× 遅れている(できていない)</td> </tr> </table>	○ 進捗している(できている)	理由	小学生の段階からスポーツに親しむことで、スポーツ競技力、体力の向上、及び健全育成が図られる。	▲ 少し遅れている(少しできていない)
○ 進捗している(できている)	理由	小学生の段階からスポーツに親しむことで、スポーツ競技力、体力の向上、及び健全育成が図られる。			
▲ 少し遅れている(少しできていない)					
× 遅れている(できていない)					
評価	効率性・・・DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)に対して、コスト削減の余地がなかったか				
	<table border="1"> <tr> <td>○ 削減の余地がなかった</td> <td rowspan="3">理由</td> <td rowspan="3">月額4,500円の指導謝礼、年1回の広報チラシ紙代であり、謝金支払額は、教室数の増減によるが、この要素以外に削減の余地はない。</td> </tr> <tr> <td>▲ 少し削減の余地があった</td> </tr> <tr> <td>× 削減の余地があった</td> </tr> </table>	○ 削減の余地がなかった	理由	月額4,500円の指導謝礼、年1回の広報チラシ紙代であり、謝金支払額は、教室数の増減によるが、この要素以外に削減の余地はない。	▲ 少し削減の余地があった
○ 削減の余地がなかった	理由	月額4,500円の指導謝礼、年1回の広報チラシ紙代であり、謝金支払額は、教室数の増減によるが、この要素以外に削減の余地はない。			
▲ 少し削減の余地があった					
× 削減の余地があった					

ACTION			
改善	事業内容の方向性		
	A 現状維持	理由	次代を担う青少年が、スポーツに親しむ機会として貴重である。競技力・運動能力の向上だけでなく、健全育成にも寄与する。
	B 内容の見直し		
	C 統廃合・休止・終了		
	事業規模の方向性		
	B 現状維持	理由	少子化などにより、若干の教室数の増減はあるものの、概ね現状のままと考えられる。
A 事業拡大			
C 事業縮小			

平成22年度 事務事業評価

整理番号
21-22

平成21年度予算	会計名称	款	項	目	事業	細事業
	一般会計	10	06	02	05	02
細事業名		全国高等学校総合体育大会開催事業				

担当部局	教育委員会事務局
担当課等	社会教育課
担当課長の氏名	安達 忠行
担当者の氏名	吉田 茂夫

PLAN	
総合計画 (前期基本計画)	基本方針 (政策) IV 生涯学習都市 計画項目 (施策) ④ 社会教育・スポーツの充実 施策方針 1 社会教育体制の確立
事業の目的	<p>(どのような目的で事業を実施するか) 平成21年度全国高等学校総合体育大会に向けた大会会場・施設の整備、備品等の購入および、大会開催経費の補助を行う。多額の経費がかからない方法で開催に向けて準備を進めるとともに、今後カヌー競技場で行われる各種カヌー大会、ドラゴンカヌー大会など市民の活用につながる事業を進める。</p> <p>平成26年度事業の効果目標 (平成26年度までに、どのような効果をだすか。できるだけ指標と数値で記入) 平成21年度は京都府が高校総体の会場になったが、平成26年度事業はない。</p>

DO	
平成21年度事業の実績	(何を対象に、何をしたか) 京丹後市の久美浜カヌーレーシング競技場において、平成21年度全国高等学校総合体育大会カヌー競技大会が開催された。
平成21年度事業の効果	(実績により、どのような効果があったか。できるだけ指標と数値で記入) 全国から89の高校、538名の参加があり、見るものすべてに大きな感動を与えてくれた。

●平成21年度決算

予算科目	歳出		歳入		
	節	金額(千円)	項目	名称	金額(千円)
予算科目	8	168	財源内訳	国庫支出金	
	12	499		府支出金	
	13	147		起債	
	18	333		分担金・負担金	
	19	10,000		その他	
事業費合計		11,147	一般財源		11,147
			合計		11,147

CHECK			
評価	目標達成度・・・DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)が、PLAN(事業の目的、あるいは平成26年度事業の効果目標)の達成に向けて順調に進捗したか	理由	平成21年度全国高等学校総合体育大会に向けた大会会場・施設の整備、備品等の購入および、大会開催経費の補助を行うことができた。
	○ 進捗している(できている)		
	○ ▲ 少し遅れている(少しできていない)		
	○ × 遅れている(できていない)		
効率性・・・DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)に対して、コスト削減の余地がなかったか		理由	必要不可欠であり、妥当なコストである。
○ 削減の余地がなかった			
○ ▲ 少し削減の余地があった			
○ × 削減の余地があった			

ACTION			
改善	事業内容の方向性		
	C A 現状維持	理由	平成21年度は京都府が高校総体の会場になっていたため。
	B 内容の見直し		
	C 統廃合・休止・終了		
	事業規模の方向性		
	B A 事業拡大	理由	平成26年度までの間に京都府で開催はない。
B 現状維持			
C 事業縮小			

平成22年度 事務事業評価

整理番号
21-23

平成21年度予算	会計名称	款	項	目	事業	細事業
	一般会計	10	06	03	01	01
細事業名		体育施設管理運営事業				

担当部局	教育委員会事務局
担当課等	社会教育課
担当課長の氏名	安達 忠行
担当者の氏名	下田真紀子

PLAN	
総合計画 (前期基本計画)	基本方針 (政策) IV 生涯学習都市 計画項目 (施策) ④ 社会教育・スポーツの充実 施策方針 1 社会教育体制の確立
事業の目的	(どのような目的で事業を実施するか) 地域住民に身近な地域スポーツ活動の拠点施設として、体育施設を管理運営することで、地域でのスポーツ振興を図るとともに、スポーツ競技団体の競技力の向上及び青少年等の社会性の体得に貢献する。 事業の目的 (平成26年度までに、どのような効果をだすか。できるだけ指標と数値で記入) 良好な社会体育施設の維持管理。

DO	
平成21年度事業の実績	(何を対象に、何をしたか) 市民がスポーツを実施する上で、支障なく利用してもらえるように社会体育施設の維持管理を行い、市のスポーツの普及・発展に貢献した。
平成21年度事業の効果	(実績により、どのような効果があったか。できるだけ指標と数値で記入) 市民がスポーツを実施する上で、支障なく利用してもらえるよう社会体育施設の維持管理を行い、市のスポーツ普及・発展に貢献した。

●平成21年度決算

予算科目	歳出		歳入	
	節	金額(千円)	項目	名称 金額(千円)
財源内訳	11	14,417	国庫支出金	使用料 3,058
	12	826	府支出金	諸収入 2
	13	15,510	起債	
	14	218	分担金・負担金	
	15	1,072	その他	
	16	22		
	18	158		
事業費合計		32,223	一般財源	29,163
			合計	32,223

CHECK					
評価	目標達成度・・・DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)が、PLAN(事業の目的、あるいは平成26年度事業の効果目標)の達成に向けて順調に進捗したか				
	<table border="1"> <tr> <td>○ 進捗している(できている)</td> <td rowspan="3">理由</td> <td rowspan="3">地域住民に身近な場所で、スポーツをする場を提供することができたと考える。</td> </tr> <tr> <td>▲ 少し遅れている(少しできていない)</td> </tr> <tr> <td>× 遅れている(できていない)</td> </tr> </table>	○ 進捗している(できている)	理由	地域住民に身近な場所で、スポーツをする場を提供することができたと考える。	▲ 少し遅れている(少しできていない)
○ 進捗している(できている)	理由	地域住民に身近な場所で、スポーツをする場を提供することができたと考える。			
▲ 少し遅れている(少しできていない)					
× 遅れている(できていない)					
評価	効率性・・・DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)に対して、コスト削減の余地がなかったか				
	<table border="1"> <tr> <td>○ 削減の余地がなかった</td> <td rowspan="3">理由</td> <td rowspan="3">地域住民に身近な場所でのスポーツ活動の推進のため必要な経費である。</td> </tr> <tr> <td>▲ 少し削減の余地があった</td> </tr> <tr> <td>× 削減の余地があった</td> </tr> </table>	○ 削減の余地がなかった	理由	地域住民に身近な場所でのスポーツ活動の推進のため必要な経費である。	▲ 少し削減の余地があった
○ 削減の余地がなかった	理由	地域住民に身近な場所でのスポーツ活動の推進のため必要な経費である。			
▲ 少し削減の余地があった					
× 削減の余地があった					

ACTION			
改善	事業内容の方向性		
	A 現状維持	理由	スポーツ活動の拠点として設備の充実と利便性を向上させ、市民の利用に支障のないよう今後も維持管理を引続き実施していく必要がある。
	B 内容の見直し		
	C 統廃合・休止・終了		
	事業規模の方向性		
	B 現状維持	理由	今後も引続き体育施設を開放し、維持管理を行っていく。
A 事業拡大			
C 事業縮小			

平成22年度 事務事業評価

整理番号
21-24

平成21年度予算	会計名称	款	項	目	事業	細事業
	一般会計	10	06	03	02	01
細事業名		社会体育用学校開放施設管理運営事業				

担当部局	教育委員会事務局
担当課等	社会教育課
担当課長の氏名	安達 忠行
担当者の氏名	下田真紀子

PLAN	
総合計画 (前期基本計画)	基本方針 (政策) IV 生涯学習都市 計画項目 (施策) ④ 社会教育・スポーツの充実 施策方針 1 社会教育体制の確立
事業の目的	(どのような目的で事業を実施するか) 地域住民に最も身近な地域スポーツ活動の拠点施設として、学校体育施設を開放することで、地域でのスポーツ振興を図るとともに、スポーツ競技団体の競技力の向上及び青少年等の社会性の体得に貢献する。 平成26年度事業の効果目標 (平成26年度までに、どのような効果をだすか。できるだけ指標と数値で記入) 学校に支障のない範囲で、市民が常に施設利用できるように、維持管理に努める。

DO	
平成21年度事業の実績	(何を対象に、何をしたか) 地域でのスポーツ振興を図るとともに、競技力の向上及び社会性を身につける場として、学校教育に支障のない範囲で、市民へ学校施設を開放し、利用していただいた。また、常に利用可能なように学校体育施設の維持管理に努めた。
平成21年度事業の効果	(実績により、どのような効果があったか。できるだけ指標と数値で記入) 学校体育施設を開放することにより、地域スポーツの振興、競技力向上及び青少年等の社会性の育成に貢献できた。

●平成21年度決算

予算科目	歳出		歳入		
	節	金額(千円)	項目	名称	金額(千円)
	11	2,724	国庫支出金		
			府支出金		
			起債		
			分担金・負担金		
			その他	小中学校使用料	3,155
			一般財源		-431
事業費合計		2,724	合計		2,724

CHECK								
評価	目標達成度・・・DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)が、PLAN(事業の目的、あるいは平成26年度事業の効果目標)の達成に向けて順調に進捗したか							
	<table border="1"> <tr> <td>○</td> <td>進捗している(できている)</td> <td rowspan="3">理由</td> <td rowspan="3">地域スポーツの振興及び競技力向上が図られたと考える。</td> </tr> <tr> <td>○</td> <td>▲ 少し遅れている(少しできていない)</td> </tr> <tr> <td>○</td> <td>× 遅れている(できていない)</td> </tr> </table>	○	進捗している(できている)	理由	地域スポーツの振興及び競技力向上が図られたと考える。	○	▲ 少し遅れている(少しできていない)	○
○	進捗している(できている)	理由	地域スポーツの振興及び競技力向上が図られたと考える。					
○	▲ 少し遅れている(少しできていない)							
○	× 遅れている(できていない)							
評価	効率性・・・DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)に対して、コスト削減の余地がなかったか							
	<table border="1"> <tr> <td>○</td> <td>削減の余地がなかった</td> <td rowspan="3">理由</td> <td rowspan="3">地域住民の身近な場所でのスポーツ活動の推進のため必要な経費である。</td> </tr> <tr> <td>○</td> <td>▲ 少し削減の余地があった</td> </tr> <tr> <td>○</td> <td>× 削減の余地があった</td> </tr> </table>	○	削減の余地がなかった	理由	地域住民の身近な場所でのスポーツ活動の推進のため必要な経費である。	○	▲ 少し削減の余地があった	○
○	削減の余地がなかった	理由	地域住民の身近な場所でのスポーツ活動の推進のため必要な経費である。					
○	▲ 少し削減の余地があった							
○	× 削減の余地があった							

ACTION			
改善	事業内容の方向性	理由	地域スポーツの振興と競技力向上及び社会性の育成の場として今後も学校体育施設を開放していくことが必要不可欠と考える。
	A 現状維持		
	B 内容の見直し		
	C 統廃合・休止・終了		
	事業規模の方向性	理由	今後も市内全域の学校体育施設を開放し、維持管理を行っていく。
	B 現状維持		
C 事業縮小			

平成22年度 事務事業評価

整理番号
21-25

平成21年度予算	会計名称	款	項	目	事業	細事業
	一般会計	10	05	03	01	01
細事業名		図書館管理運営事業				

担当部局	教育委員会事務局
担当課等	社会教育課
担当課長の氏名	安達忠行
担当者の氏名	藤原恵美子

PLAN	
総合計画 (前期基本計画)	基本方針 (政策) IV 生涯学習都市 計画項目 (施策) ④ 社会教育・スポーツの充実 施策方針 2 図書館ネットワークの確立
事業の目的	<p>(どのような目的で事業を実施するか)</p> <p>・市民の求める、読書や情報収集の支援と、知的要求に応える生涯学習都市の実現のため各種事業を実施するなど役に立つ図書館サービスの充実を図る。</p> <p>平成26年度事業の効果目標 (平成26年度までに、どのような効果をだすか。できるだけ指標と数値で記入)</p> <p>図書システム更新によって、さらに利便性を図る。 資料費の充実による市内図書館全体の利用の増大。 貸出点数430,000点(内、個人貸出350,000点。学校再配置により団体貸出は減少が見込まれる)</p>

DO	
平成21年度事業の実績	<p>(何を対象に、何をしたか)</p> <p>・利用者ニーズ、話題性、資料的価値観等を考慮した図書館資料を購入し、円滑に利用者に提供。 ・レファレンスサービス(調べ物の資料提供)など役に立つ図書館サービスの充実を図った。 ・学校等関係機関と連携し子どもの読書活動を推進するため、団体貸出の実施及び読み聞かせ等の支援活動を行った。</p>
平成21年度事業の効果	<p>(実績により、どのような効果があったか。できるだけ指標と数値で記入)</p> <p>市内間の貸出のネットワークが確立したため、予約・取寄せ件数が増えた。 各館とも各種事業を拡充した。 平成21年度貸出点数 421,337点(内、個人貸出337,630点)平成20年度 397,470点(内、個人貸出321,956点)</p>

●平成21年度決算

予算科目	歳出		歳入		
	節	金額(千円)	項目	名称	金額(千円)
財源内訳	1	80	国庫支出金		
	4	2,839	府支出金		
	7	26,006	起債		
	8・9	74	分担金・負担金		
	11・12	4,803	その他		
	13	1,632			
	14	730			
	18・19	12,509	一般財源		48,673
	事業費合計		48,673	合計	

CHECK			
評価	目標達成度・・・DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)が、PLAN(事業の目的、あるいは平成26年度事業の効果目標)の達成に向けて順調に進捗したか	理由	図書システムの統合に伴って図書の配送システムが確立したことにより、市内の資料の循環が円滑に図られ、予約・取寄せの件数及び個人の貸出点数が増加した。
	○ 進捗している(できている)		
	▲ 少し遅れている(少しできていない)		
	× 遅れている(できていない)		
効率性・・・DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)に対して、コスト削減の余地がなかったか	理由	図書システムの統合により、資料費の有効活用を図ったが、年間8万点の本が出版され、1冊の単価も上がっている中、市民の読書要求は多様化しており、新鮮な本を置くために図書費の増額が課題。	
○ 削減の余地がなかった			
▲ 少し削減の余地があった			
× 削減の余地があった			

ACTION			
改善	事業内容の方向性		
	A	A 現状維持	理由 市立図書館が一体となって市民により良いサービスを提供していく。
		B 内容の見直し	
		C 統廃合・休止・終了	
	事業規模の方向性		
	A	A 事業拡大	理由 市民のニーズを的確に捉え、新着資料と所蔵している豊富な資料を活用したコーナー作りや図書館だより、ホームページによる情報発信等により、新たな利用者増に努め、レファレンスの充実等、役に立つ図書館を目指す。
	B 現状維持		
	C 事業縮小		

平成22年度 事務事業評価

整理番号
21-26

平成21年度予算	会計名称	款	項	目	事業	細事業
	一般会計	10	05	01	06	01
細事業名		障害者教育事業				

担当部局	教育委員会事務局
担当課等	社会教育課
担当課長の氏名	安達 忠行
担当者の氏名	島貫 博志

PLAN	
総合計画 (前期基本計画)	基本方針 (政策) IV 生涯学習都市 計画項目 (施策) ④ 社会教育・スポーツの充実 施策方針 3 生涯学習推進体制の整備
事業の目的	(どのような目的で事業を実施するか) 体験学習や研修活動を通して交流を深め障害者の学習活動や社会参加を促進する。 平成26年度事業の効果目標 (平成26年度までに、どのような効果をだすか。できるだけ指標と数値で記入) 様々な体験活動の実施と放課後や休日における子どもの居場所づくり

DO	
平成21年度事業の実績	(何を対象に、何をしたか) 視覚障害者及び聴覚障害者を対象とした体験実習と環境学習・応急手当講習などの研修会を実施した。また、京都府が実施する同研修会へ参加するための支援と網野青年学級の運営支援(132千円)を行った。 ○視覚障害者研修会 42名参加 ○聴覚障害者研修会 26名参加
平成21年度事業の効果	(実績により、どのような効果があったか。できるだけ指標と数値で記入) 障害者の社会参加と交流の促進

●平成21年度決算

予算科目	歳出		歳入		
	節	金額(千円)	項目	名称	金額(千円)
事業費合計	8	52	財源内訳	国庫支出金	
	9	2		府支出金	
	11	16		起債	
	13	37		分担金・負担金	
	19	132		その他	
			一般財源	239	
事業費合計		239	合計		239

CHECK							
評価	目標達成度・・・DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)が、PLAN(事業の目的、あるいは平成26年度事業の効果目標)の達成に向けて順調に進捗したか						
	<table border="1"> <tr> <td>▲</td> <td>○ 進捗している(できている)</td> <td rowspan="3">理由 網野地域の青年学級への支援について、他地域とのバランスにも配慮し、検証する必要がある。</td> </tr> <tr> <td></td> <td>▲ 少し遅れている(少しできていない)</td> </tr> <tr> <td></td> <td>× 遅れている(できていない)</td> </tr> </table>	▲	○ 進捗している(できている)	理由 網野地域の青年学級への支援について、他地域とのバランスにも配慮し、検証する必要がある。		▲ 少し遅れている(少しできていない)	
▲	○ 進捗している(できている)	理由 網野地域の青年学級への支援について、他地域とのバランスにも配慮し、検証する必要がある。					
	▲ 少し遅れている(少しできていない)						
	× 遅れている(できていない)						
評価	効率性・・・DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)に対して、コスト削減の余地がなかったか						
	<table border="1"> <tr> <td>○</td> <td>○ 削減の余地がなかった</td> <td rowspan="3">理由 必要最小限の予算で事業を実施している。</td> </tr> <tr> <td></td> <td>▲ 少し削減の余地があった</td> </tr> <tr> <td></td> <td>× 削減の余地があった</td> </tr> </table>	○	○ 削減の余地がなかった	理由 必要最小限の予算で事業を実施している。		▲ 少し削減の余地があった	
○	○ 削減の余地がなかった	理由 必要最小限の予算で事業を実施している。					
	▲ 少し削減の余地があった						
	× 削減の余地があった						

ACTION							
改善	事業内容の方向性						
	<table border="1"> <tr> <td>B</td> <td>A 現状維持</td> <td rowspan="3">理由 障害者の数少ない学習・交流の場であり広く参加が得られるような工夫をしながら継続して実施する必要があるが、網野地域の青年学級への支援について、他地域とのバランスにも配慮し、検証する必要がある。</td> </tr> <tr> <td></td> <td>B 内容の見直し</td> </tr> <tr> <td></td> <td>C 統廃合・休止・終了</td> </tr> </table>	B	A 現状維持	理由 障害者の数少ない学習・交流の場であり広く参加が得られるような工夫をしながら継続して実施する必要があるが、網野地域の青年学級への支援について、他地域とのバランスにも配慮し、検証する必要がある。		B 内容の見直し	
B	A 現状維持	理由 障害者の数少ない学習・交流の場であり広く参加が得られるような工夫をしながら継続して実施する必要があるが、網野地域の青年学級への支援について、他地域とのバランスにも配慮し、検証する必要がある。					
	B 内容の見直し						
	C 統廃合・休止・終了						
改善	事業規模の方向性						
	<table border="1"> <tr> <td>A</td> <td>A 事業拡大</td> <td rowspan="3">理由 障害者の貴重な学習と交流の場であり、対象者からも開催の要望が強い事業である。また、視覚・聴覚障害者は、高齢者が多く今後ますます必要性が高まる事業である。</td> </tr> <tr> <td></td> <td>B 現状維持</td> </tr> <tr> <td></td> <td>C 事業縮小</td> </tr> </table>	A	A 事業拡大	理由 障害者の貴重な学習と交流の場であり、対象者からも開催の要望が強い事業である。また、視覚・聴覚障害者は、高齢者が多く今後ますます必要性が高まる事業である。		B 現状維持	
A	A 事業拡大	理由 障害者の貴重な学習と交流の場であり、対象者からも開催の要望が強い事業である。また、視覚・聴覚障害者は、高齢者が多く今後ますます必要性が高まる事業である。					
	B 現状維持						
	C 事業縮小						

平成22年度 事務事業評価

整理番号
21-27

平成21年度予算	会計名称	款	項	目	事業	細事業
	一般会計	10	05	01	07	01
細事業名		成人教育事業				

担当部局	教育委員会事務局
担当課等	社会教育課
担当課長の氏名	安達 忠行
担当者の氏名	島貫 博志

PLAN	
総合計画 (前期基本計画)	基本方針 (政策) IV 生涯学習都市 計画項目 (施策) ④ 社会教育・スポーツの充実 施策方針 3 生涯学習推進体制の整備
事業の目的	(どのような目的で事業を実施するか) 市民のニーズにあった趣味や教養などの学習機会を提供することにより、市民が生涯を通して、いつでも自由に学び楽しむことができる生涯学習社会の実現を目指す。 事業参加者の増加及びサークル化
平成26年度事業の効果目標	(平成26年度までに、どのような効果をだすか。できるだけ指標と数値で記入)

DO	
平成21年度事業の実績	(何を対象に、何をしたか) 市民を対象とした各種の趣味教養講座(IT講習会、デッサン、絵手紙、デジカメ、囲碁、詩吟、剪定、料理講習など)や、健康体力づくり、学習講座など市民のニーズに即した各種事業を実施した。8事業(65回);延べ616名が参加
平成21年度事業の効果	(実績により、どのような効果があったか。できるだけ指標と数値で記入) 市民の各種講座への参加者の増加及び生涯学習活動の充実

●平成21年度決算

予算科目	歳出		歳入		
	節	金額(千円)	項目	名称	金額(千円)
事業費合計	8	141	国庫支出金		
	11	51	府支出金		
	12	8	起債		
	13	208	分担金・負担金		
			その他		
			一般財源		408
事業費合計		408	合計		408

CHECK		
評価	目標達成度・・・DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)が、PLAN(事業の目的、あるいは平成26年度事業の効果目標)の達成に向けて順調に進捗したか	
	○ 進捗している(できている)	理由 地域公民館の連携や広域的な事業の展開が定着しつつある。また、サークルの育成を図ることができた。
	▲ 少し遅れている(少しできていない)	
	× 遅れている(できていない)	
効率性・・・DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)に対して、コスト削減の余地がなかったか		
○ 削減の余地がなかった	理由 学習者にも一定の費用負担をしていただいている。	
▲ 少し削減の余地があった		
× 削減の余地があった		

ACTION		
改善	事業内容の方向性	
	A 現状維持	理由 市民のニーズや地域課題を的確に把握し、講座の内容の充実を図り、市民団体・サークル活動の育成を図る。
	B 内容の見直し	
	C 統廃合・休止・終了	
	事業規模の方向性	
	B 現状維持	理由 学習者へも一定の負担をいただきながら各種の生涯学習機会を提供し、地域人材を活用した講座の充実を図る。
A 事業拡大		
C 事業縮小		

平成22年度 事務事業評価

整理番号
21-28

平成21年度予算	会計名称	款	項	目	事業	細事業
	一般会計	10	05	01	08	01
細事業名		女性教育事業				

担当部局	教育委員会事務局
担当課等	社会教育課
担当課長の氏名	安達 忠行
担当者の氏名	島貫 博志

PLAN	
総合計画 (前期基本計画)	基本方針 (政策) IV 生涯学習都市 計画項目 (施策) ④ 社会教育・スポーツの充実 施策方針 3 生涯学習推進体制の整備
事業の目的	(どのような目的で事業を実施するか) 女性団体の活動を支援するとともに、女性の身近な場での学習機会を提供することによって、女性の社会参加と組織化を促進する。 事業参加者の増加と組織化の促進 平成26年度事業の効果目標 (平成26年度までに、どのような効果をだすか。できるだけ指標と数値で記入)

DO	
平成21年度事業の実績	(何を対象に、何をしたか) 京丹後市連合婦人会(361千円)及び網野生活学校(49千円)への活動支援及び、地区公民館を単位とした女性講座を開設し、地域での交流活動を通して、連帯意識を高める取り組みを進めた。3事業(11回);延べ121名が参加
平成21年度事業の効果	(実績により、どのような効果があったか。できるだけ指標と数値で記入) 連合婦人会組織を中心とした自発的な活動と女性組織の発展が見られた

●平成21年度決算

予算科目	歳出		歳入		
	節	金額(千円)	項目	名称	金額(千円)
事業費合計	8	54	財源内訳	国庫支出金	
	11	22		府支出金	
	19	410		起債	
				分担金・負担金	
			その他		
			一般財源	486	
事業費合計		486	合計		486

CHECK								
評価	目標達成度・・・DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)が、PLAN(事業の目的、あるいは平成26年度事業の効果目標)の達成に向けて順調に進捗したか							
	<table border="1"> <tr> <td>▲</td> <td>○ 進捗している(できている)</td> <td rowspan="3">理由</td> <td rowspan="3">婦人会組織の構成に地域格差が生じている。地域での女性組織の育成が課題となっている。</td> </tr> <tr> <td></td> <td>▲ 少し遅れている(少しできていない)</td> </tr> <tr> <td></td> <td>× 遅れている(できていない)</td> </tr> </table>	▲	○ 進捗している(できている)	理由	婦人会組織の構成に地域格差が生じている。地域での女性組織の育成が課題となっている。		▲ 少し遅れている(少しできていない)	
▲	○ 進捗している(できている)	理由	婦人会組織の構成に地域格差が生じている。地域での女性組織の育成が課題となっている。					
	▲ 少し遅れている(少しできていない)							
	× 遅れている(できていない)							
評価	効率性・・・DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)に対して、コスト削減の余地がなかったか							
	<table border="1"> <tr> <td>○</td> <td>○ 削減の余地がなかった</td> <td rowspan="3">理由</td> <td rowspan="3">団体への活動補助金を段階的に削減してきたが、現状の組織体制を維持し、事業を実施するためには現行の予算が必要と思われる。</td> </tr> <tr> <td></td> <td>▲ 少し削減の余地があった</td> </tr> <tr> <td></td> <td>× 削減の余地があった</td> </tr> </table>	○	○ 削減の余地がなかった	理由	団体への活動補助金を段階的に削減してきたが、現状の組織体制を維持し、事業を実施するためには現行の予算が必要と思われる。		▲ 少し削減の余地があった	
○	○ 削減の余地がなかった	理由	団体への活動補助金を段階的に削減してきたが、現状の組織体制を維持し、事業を実施するためには現行の予算が必要と思われる。					
	▲ 少し削減の余地があった							
	× 削減の余地があった							

ACTION								
改善	事業内容の方向性							
	<table border="1"> <tr> <td>A</td> <td>A 現状維持</td> <td rowspan="3">理由</td> <td rowspan="3">女性組織の育成と地域での学習活動の活性化を図るため引き続き事業を実施する必要がある。</td> </tr> <tr> <td></td> <td>B 内容の見直し</td> </tr> <tr> <td></td> <td>C 統廃合・休止・終了</td> </tr> </table>	A	A 現状維持	理由	女性組織の育成と地域での学習活動の活性化を図るため引き続き事業を実施する必要がある。		B 内容の見直し	
A	A 現状維持	理由	女性組織の育成と地域での学習活動の活性化を図るため引き続き事業を実施する必要がある。					
	B 内容の見直し							
	C 統廃合・休止・終了							
改善	事業規模の方向性							
	<table border="1"> <tr> <td>B</td> <td>A 事業拡大</td> <td rowspan="3">理由</td> <td rowspan="3">地域での学習機会を通じた女性の交流の場の充実が必要である。</td> </tr> <tr> <td></td> <td>B 現状維持</td> </tr> <tr> <td></td> <td>C 事業縮小</td> </tr> </table>	B	A 事業拡大	理由	地域での学習機会を通じた女性の交流の場の充実が必要である。		B 現状維持	
B	A 事業拡大	理由	地域での学習機会を通じた女性の交流の場の充実が必要である。					
	B 現状維持							
	C 事業縮小							

平成22年度 事務事業評価

整理番号
21-29

平成21年度予算	会計名称	款	項	目	事業	細事業
	一般会計	10	05	01	09	01
細事業名		高齢者教育事業				

担当部局	教育委員会事務局
担当課等	社会教育課
担当課長の氏名	安達 忠行
担当者の氏名	島貫 博志

PLAN	
総合計画 (前期基本計画)	基本方針 (政策) IV 生涯学習都市 計画項目 (施策) ④ 社会教育・スポーツの充実 施策方針 3 生涯学習推進体制の整備
事業の目的	(どのような目的で事業を実施するか) 高齢者に生涯学習の機会を提供し、高齢者の生きがいを高めるとともに学習の成果を地域へ還元することによって、地域コミュニティの再生及び活性化を図る。 事業の効果目標 (平成26年度までに、どのような効果をだすか。できるだけ指標と数値で記入) 研修会参加者の増加と指導者の養成及び活用

DO	
平成21年度事業の実績	(何を対象に、何をしたか) 高齢者の社会参加と人材の養成及び活用を図るため「生涯学習ボランティア養成講座」を実施した。1事業(4回);延べ80名
平成21年度事業の効果	(実績により、どのような効果があったか。できるだけ指標と数値で記入) 学習機会の充実と指導者としての人材育成及び活用

●平成21年度決算

予算科目	歳出		歳入		
	節	金額(千円)	項目	名称	金額(千円)
事業費合計	8	48	財源内訳	国庫支出金	
	9	9		府支出金	
	11	27		起債	
				分担金・負担金	
				その他	
			一般財源	84	
事業費合計		84	合計		84

CHECK	
評価	目標達成度・・・DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)が、PLAN(事業の目的、あるいは平成26年度事業の効果目標)の達成に向けて順調に進捗したか <input type="radio"/> 進捗している(できている) <input checked="" type="radio"/> 少し遅れている(少しできていない) 理由 継続的な事業の実施及び体制整備、関係機関の連携が必要である。 <input type="radio"/> 遅れている(できていない)
	効率性・・・DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)に対して、コスト削減の余地がなかったか <input type="radio"/> 削減の余地がなかった <input checked="" type="radio"/> 少し削減の余地があった 理由 講座内容の充実を図るための予算措置が必要である。 <input type="radio"/> 削減の余地があった

ACTION				
改善	事業内容の方向性 <table border="1"> <tr> <td>A</td> <td>A 現状維持 B 内容の見直し C 統廃合・休止・終了</td> <td>理由 地域の学習活動に経験豊かな高齢者の人材を活用することができるシステムの構築と、自主的な運営を行う生涯学習サークルの育成が必要である。</td> </tr> </table>	A	A 現状維持 B 内容の見直し C 統廃合・休止・終了	理由 地域の学習活動に経験豊かな高齢者の人材を活用することができるシステムの構築と、自主的な運営を行う生涯学習サークルの育成が必要である。
	A	A 現状維持 B 内容の見直し C 統廃合・休止・終了	理由 地域の学習活動に経験豊かな高齢者の人材を活用することができるシステムの構築と、自主的な運営を行う生涯学習サークルの育成が必要である。	
事業規模の方向性 <table border="1"> <tr> <td>A</td> <td>A 事業拡大 B 現状維持 C 事業縮小</td> <td>理由 専門的な指導者を養成することを目的とした講座を企画することができる予算措置が必要である。</td> </tr> </table>	A	A 事業拡大 B 現状維持 C 事業縮小	理由 専門的な指導者を養成することを目的とした講座を企画することができる予算措置が必要である。	
A	A 事業拡大 B 現状維持 C 事業縮小	理由 専門的な指導者を養成することを目的とした講座を企画することができる予算措置が必要である。		

平成22年度 事務事業評価

整理番号
21-30

平成21年度予算	会計名称	款	項	目	事業	細事業
	一般会計	10	05	01	10	01
細事業名		家庭教育事業				

担当部局	教育委員会事務局
担当課等	社会教育課
担当課長の氏名	安達 忠行
担当者の氏名	島貫 博志

PLAN	
総合計画 (前期基本計画)	基本方針 (政策) IV 生涯学習都市 計画項目 (施策) ④ 社会教育・スポーツの充実 施策方針 3 生涯学習推進体制の整備
事業の目的	(どのような目的で事業を実施するか) 時代を担う子どもたちの健やかな成長を支援するため、家庭、学校、地域が連携した学習機会を提供するとともに、親子の交流機会を提供し地域の教育力の向上を図る。 平成26年度事業の効果目標 (平成26年度までに、どのような効果をだすか。できるだけ指標と数値で記入) 子育て学習会・各種事業への参加

DO	
平成21年度事業の実績	(何を対象に、何をしたか) 乳幼児、就学前、就学時、思春期など、子どもの発達段階に応じた親を対象にした子育て学習会や親子ふれあい事業を関係機関と連携し実施した。子育て学習会 33回; 延べ1,976名の参加 親子ふれあい事業 7回; 延べ152名参加 また、大宮・網野地域では、家庭教育支援チームを組織し、子どもの心理状況を把握する「手紙で結ぶ家族の絆事業」や地域課題を把握するためのアンケートの実施、親同士の情報交換を通して、相談できる人間関係を築くことを目的とした参加型の学習会の開催や相談対応などに取り組んだ。学習会 20回; 延べ292名参加 また、市PTA協議会(707千円)への活動支援を行う。
平成21年度事業の効果	家庭・地域の教育力の向上 家庭教育支援チームを核としたきめ細かな家庭教育支援体制の整備

●平成21年度決算

予算科目	歳出		歳入	
	節	金額(千円)	項目	名称 金額(千円)
	8	526	国庫支出金	
	9	23	府支出金	家庭教育支援基盤形成事業補助金 404
	11	307	起債	
	12	5	分担金・負担金	
	19	707	その他	
			一般財源	1,164
事業費合計		1,568	合計	1,568

CHECK				
評価	目標達成度・・・DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)が、PLAN(事業の目的、あるいは平成26年度事業の効果目標)の達成に向けて順調に進捗したか			
	<table border="1"> <tr> <td>○ 進捗している(できている)</td> <td rowspan="3">理由 家庭教育支援チームの拡充を図り地域に密着したきめ細かな家庭教育支援体制の定着を図る。</td> </tr> <tr> <td>▲ 少し遅れている(少しできていない)</td> </tr> <tr> <td>× 遅れている(できていない)</td> </tr> </table>	○ 進捗している(できている)	理由 家庭教育支援チームの拡充を図り地域に密着したきめ細かな家庭教育支援体制の定着を図る。	▲ 少し遅れている(少しできていない)
○ 進捗している(できている)	理由 家庭教育支援チームの拡充を図り地域に密着したきめ細かな家庭教育支援体制の定着を図る。			
▲ 少し遅れている(少しできていない)				
× 遅れている(できていない)				
評価	効率性・・・DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)に対して、コスト削減の余地がなかったか			
	<table border="1"> <tr> <td>○ 削減の余地がなかった</td> <td rowspan="3">理由 研修会へ参加しやすい各小学校区及び町域を単位とした学習機会の提供が効果的である。京都府の家庭教育基盤形成事業の補助事業を活用する。</td> </tr> <tr> <td>▲ 少し削減の余地があった</td> </tr> <tr> <td>× 削減の余地があった</td> </tr> </table>	○ 削減の余地がなかった	理由 研修会へ参加しやすい各小学校区及び町域を単位とした学習機会の提供が効果的である。京都府の家庭教育基盤形成事業の補助事業を活用する。	▲ 少し削減の余地があった
○ 削減の余地がなかった	理由 研修会へ参加しやすい各小学校区及び町域を単位とした学習機会の提供が効果的である。京都府の家庭教育基盤形成事業の補助事業を活用する。			
▲ 少し削減の余地があった				
× 削減の余地があった				

ACTION				
改善	事業内容の方向性			
	<table border="1"> <tr> <td>A 現状維持</td> <td rowspan="3">理由 家庭環境の多様化、地域のつながりが希薄化する中で、家庭教育の果たす役割はますます重要となる。地域課題に即した学習会を継続して実施する必要がある。</td> </tr> <tr> <td>B 内容の見直し</td> </tr> <tr> <td>C 統廃合・休止・終了</td> </tr> </table>	A 現状維持	理由 家庭環境の多様化、地域のつながりが希薄化する中で、家庭教育の果たす役割はますます重要となる。地域課題に即した学習会を継続して実施する必要がある。	B 内容の見直し
A 現状維持	理由 家庭環境の多様化、地域のつながりが希薄化する中で、家庭教育の果たす役割はますます重要となる。地域課題に即した学習会を継続して実施する必要がある。			
B 内容の見直し				
C 統廃合・休止・終了				
改善	事業規模の方向性			
	<table border="1"> <tr> <td>A 事業拡大</td> <td rowspan="3">理由 家庭教育の重要性が高まる中で、多様な子育て支援体制を構築する必要がある。</td> </tr> <tr> <td>B 現状維持</td> </tr> <tr> <td>C 事業縮小</td> </tr> </table>	A 事業拡大	理由 家庭教育の重要性が高まる中で、多様な子育て支援体制を構築する必要がある。	B 現状維持
A 事業拡大	理由 家庭教育の重要性が高まる中で、多様な子育て支援体制を構築する必要がある。			
B 現状維持				
C 事業縮小				

平成22年度 事務事業評価

整理番号
21-31

平成21年度予算	会計名称	款	項	目	事業	細事業
	一般会計	10	05	01	11	01
細事業名		芸術文化事業				

担当部局	教育委員会事務局
担当課等	社会教育課
担当課長の氏名	安達忠行
担当者の氏名	中村孝幸

PLAN	
総合計画 (前期基本計画)	基本方針 (政策) IV 生涯学習都市 計画項目 (施策) ④ 社会教育・スポーツの充実 施策方針 3 生涯学習推進体制の整備
事業の目的	(どのような目的で事業を実施するか) 文化活動を通じた地域の振興とまちづくり。住民の教養の向上、生活文化の振興。 事業実施にあたり文化協会各団体の自主運営の促進(行政依存的体質の改善)
平成26年度事業の効果目標	(平成26年度までに、どのような効果をだすか。できるだけ指標と数値で記入)

DO	
平成21年度事業の実績	(何を対象に、何をしたか) 従来旧6町に存在した文化協会(文化団体協議会)を解消し、平成21年7月1日に京丹後市文化協会を発足させた。また平成22年3月には、京都府丹後文化会館及び峰山地域公民館を会場に市総合文化祭(ステージ、展示)を実施した。市民を対象とした事業の実施(公共ホール音楽活性化事業、小町ろまん短歌大会、府丹後文化会館への補助)
平成21年度事業の効果	(実績により、どのような効果があったか。できるだけ指標と数値で記入) 文化協会において活動目的と補助金の使途についての共通理解ができた。

●平成21年度決算

予算科目	歳出		歳入		
	節	金額(千円)	項目	名称	金額(千円)
財源内訳	11	195	国庫支出金		
	12	77	府支出金		
	13	942	起債		
	14	253	分担金・負担金		
	19	31,542	その他	公共ホール音楽活性化	310
			その他	公演入場料	270
			一般財源		32,429
事業費合計		33,009	合計		33,009

CHECK							
評価	目標達成度・・・DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)が、PLAN(事業の目的、あるいは平成26年度事業の効果目標)の達成に向けて順調に進捗したか						
	<table border="1"> <tr> <td>○</td> <td>進捗している(できている)</td> <td rowspan="3">理由 市文化協会の設立と各種文化芸術事業の実施</td> </tr> <tr> <td>▲</td> <td>少し遅れている(少しできていない)</td> </tr> <tr> <td>×</td> <td>遅れている(できていない)</td> </tr> </table>	○	進捗している(できている)	理由 市文化協会の設立と各種文化芸術事業の実施	▲	少し遅れている(少しできていない)	×
○	進捗している(できている)	理由 市文化協会の設立と各種文化芸術事業の実施					
▲	少し遅れている(少しできていない)						
×	遅れている(できていない)						
評価	効率性・・・DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)に対して、コスト削減の余地がなかったか						
	<table border="1"> <tr> <td>○</td> <td>削減の余地がなかった</td> <td rowspan="3">理由 事業の効率化を目指しての市文化協会の設立のため、第一段階として規約と予算を共有することを主としたため(補助金削減を目的とした市文化協会の設立でなかったため)。</td> </tr> <tr> <td>▲</td> <td>少し削減の余地があった</td> </tr> <tr> <td>×</td> <td>削減の余地があった</td> </tr> </table>	○	削減の余地がなかった	理由 事業の効率化を目指しての市文化協会の設立のため、第一段階として規約と予算を共有することを主としたため(補助金削減を目的とした市文化協会の設立でなかったため)。	▲	少し削減の余地があった	×
○	削減の余地がなかった	理由 事業の効率化を目指しての市文化協会の設立のため、第一段階として規約と予算を共有することを主としたため(補助金削減を目的とした市文化協会の設立でなかったため)。					
▲	少し削減の余地があった						
×	削減の余地があった						

ACTION							
改善	事業内容の方向性						
	<table border="1"> <tr> <td>B</td> <td>A 現状維持</td> <td rowspan="3">理由 個人の楽しみをでない公共性・公益性の低い活動費用についての自己負担化</td> </tr> <tr> <td></td> <td>B 内容の見直し</td> </tr> <tr> <td></td> <td>C 統廃合・休止・終了</td> </tr> </table>	B	A 現状維持	理由 個人の楽しみをでない公共性・公益性の低い活動費用についての自己負担化		B 内容の見直し	
B	A 現状維持	理由 個人の楽しみをでない公共性・公益性の低い活動費用についての自己負担化					
	B 内容の見直し						
	C 統廃合・休止・終了						
改善	事業規模の方向性						
	<table border="1"> <tr> <td>A</td> <td>A 事業拡大</td> <td rowspan="3">理由 文化活動を通じた地域の振興とまちづくりのため</td> </tr> <tr> <td></td> <td>B 現状維持</td> </tr> <tr> <td></td> <td>C 事業縮小</td> </tr> </table>	A	A 事業拡大	理由 文化活動を通じた地域の振興とまちづくりのため		B 現状維持	
A	A 事業拡大	理由 文化活動を通じた地域の振興とまちづくりのため					
	B 現状維持						
	C 事業縮小						

平成22年度 事務事業評価

整理番号
21-32

平成21年度予算	会計名称	款	項	目	事業	細事業
	一般会計	10	05	05	01	01
細事業名		峰山いさなご施設管理運営事業				

担当部局	教育委員会事務局
担当課等	社会教育課
担当課長の氏名	安達 忠行
担当者の氏名	下田真紀子

PLAN	
総合計画 (前期基本計画)	基本方針 (政策) IV 生涯学習都市 計画項目 (施策) ④ 社会教育・スポーツの充実 施策方針 3 生涯学習推進体制の整備
事業の目的 (どのような目的で事業を実施するか)	林業経営の安定と農山村地域の振興を図る(峰山林業総合センター) 工芸品づくりによる高齢者の介護予防、生きがいつくりの推進及び文化・伝承活動等の実施に対する支援を図る(いさなご工房) 市民の体育、スポーツ及びレクリエーションの振興を図り、生活文化の向上に資するため(いさなごコート)。 市民が利用しやすいよう、良好な施設環境の維持をする。
	平成26年度事業の効果目標 (平成26年度までに、どのような効果をだすか。できるだけ指標と数値で記入)

DO	
平成21年度事業の実績 (何を対象に、何をしたか)	施設管理及び木工・陶芸の指導・定期講座の実施。いさなごコート(屋根付ゲートボール場)・会議室の貸し出しを行い、H20よりは減少したが多くの利用があった。H20利用者数16,244人・H21利用者数15,385人
平成21年度事業の効果 (実績により、どのような効果があったか。できるだけ指標と数値で記入)	良好な施設環境の維持ができた。

●平成21年度決算

予算科目	歳出		歳入		
	節	金額(千円)	項目	名称	金額(千円)
財源内訳	01	1,998	国庫支出金		
	04	264	府支出金		
	11	2,152	起債		
	12	191	分担金・負担金		
	13	3,070	その他	使用料	1,286
	14	15		諸収入	195
事業費合計		7,690	一般財源		6,209
			合計		7,690

CHECK				
評価	目標達成度・・・DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)が、PLAN(事業の目的、あるいは平成26年度事業の効果目標)の達成に向けて順調に進捗したか			
	<table border="1"> <tr> <td>○ 進捗している(できている)</td> <td rowspan="3">理由 生涯学習の拠点施設として役割を果たしている。</td> </tr> <tr> <td>○ ▲ 少し遅れている(少しできていない)</td> </tr> <tr> <td>○ × 遅れている(できていない)</td> </tr> </table>	○ 進捗している(できている)	理由 生涯学習の拠点施設として役割を果たしている。	○ ▲ 少し遅れている(少しできていない)
○ 進捗している(できている)	理由 生涯学習の拠点施設として役割を果たしている。			
○ ▲ 少し遅れている(少しできていない)				
○ × 遅れている(できていない)				
評価	効率性・・・DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)に対して、コスト削減の余地がなかったか			
	<table border="1"> <tr> <td>○ 削減の余地がなかった</td> <td rowspan="3">理由 人件費をはじめ、木工・陶芸の材料費、光熱水費など最大限の節約を行っている。</td> </tr> <tr> <td>○ ▲ 少し削減の余地があった</td> </tr> <tr> <td>○ × 削減の余地があった</td> </tr> </table>	○ 削減の余地がなかった	理由 人件費をはじめ、木工・陶芸の材料費、光熱水費など最大限の節約を行っている。	○ ▲ 少し削減の余地があった
○ 削減の余地がなかった	理由 人件費をはじめ、木工・陶芸の材料費、光熱水費など最大限の節約を行っている。			
○ ▲ 少し削減の余地があった				
○ × 削減の余地があった				

ACTION		
改善	事業内容の方向性	
	A 現状維持	理由 指定管理者制度導入へ移行
	B 内容の見直し	
	C 統廃合・休止・終了	
	事業規模の方向性	
	A 事業拡大	理由 指定管理者制度導入へ移行
B 現状維持		
C 事業縮小		

平成22年度 事務事業評価

整理番号
21-33

平成21年度予算	会計名称	款	項	目	事業	細事業
	一般会計	10	05	05	02	01
細事業名		マスターズビレッジ管理運営事業				

担当部局	教育委員会事務局
担当課等	社会教育課
担当課長の氏名	安達 忠行
担当者の氏名	下田真紀子

PLAN	
総合計画 (前期基本計画)	基本方針 (政策) IV 生涯学習都市 計画項目 (施策) ④ 社会教育・スポーツの充実 施策方針 3 生涯学習推進体制の整備
事業の目的	(どのような目的で事業を実施するか) 活ある長寿社会の実現に向けて、生きがいづくり、ふれあい交流づくり及び健康づくりの場を提供し、生涯学習の推進に寄与する。 事業の目的 (平成26年度事業の効果目標) (平成26年度までに、どのような効果をだすか。できるだけ指標と数値で記入) 市民が利用しやすいよう、良好な施設環境の維持をする。

DO	
平成21年度事業の実績	(何を対象に、何をしたか) 陶芸、染色の指導。施設管理及び展示室・会議室の貸し出し。ふれあいスポーツ広場の貸し出しを行い、H20より減少したが多くの利用があった。マスターズビレッジ法面整形工事を実施した。H20利用者数9,281人・H21利用者数8,426人
平成21年度事業の効果	(実績により、どのような効果があったか。できるだけ指標と数値で記入) 良好な施設環境の維持ができた。

●平成21年度決算

予算科目	歳出		歳入		
	節	金額(千円)	項目	名称	金額(千円)
財源内訳	11	3,269	国庫支出金		
	12	136	府支出金		
	13	13,190	起債		
	14	27	分担金・負担金		
	15	1,065	その他	使用料	1,936
	16	7		諸収入	92
	22	130		一般財源	15,796
事業費合計		17,824	合計		17,824

CHECK						
評価	目標達成度・・・DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)が、PLAN(事業の目的、あるいは平成26年度事業の効果目標)の達成に向けて順調に進捗したか					
	<table border="1"> <tr> <td>○ 進捗している(できている)</td> <td rowspan="3">理由</td> <td rowspan="3">施設利用者数は伸び悩みがあるものの、生涯学習の拠点施設として役割を果たしている。</td> </tr> <tr> <td>▲ 少し遅れている(少しできていない)</td> </tr> <tr> <td>× 遅れている(できていない)</td> </tr> </table>	○ 進捗している(できている)	理由	施設利用者数は伸び悩みがあるものの、生涯学習の拠点施設として役割を果たしている。	▲ 少し遅れている(少しできていない)	× 遅れている(できていない)
	○ 進捗している(できている)	理由			施設利用者数は伸び悩みがあるものの、生涯学習の拠点施設として役割を果たしている。	
	▲ 少し遅れている(少しできていない)					
× 遅れている(できていない)						
効率性・・・DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)に対して、コスト削減の余地がなかったか						
<table border="1"> <tr> <td>○ 削減の余地がなかった</td> <td rowspan="3">理由</td> <td rowspan="3">陶芸・染色の材料費など最大限の節約を行っている。</td> </tr> <tr> <td>▲ 少し削減の余地があった</td> </tr> <tr> <td>× 削減の余地があった</td> </tr> </table>	○ 削減の余地がなかった	理由	陶芸・染色の材料費など最大限の節約を行っている。	▲ 少し削減の余地があった	× 削減の余地があった	
○ 削減の余地がなかった	理由			陶芸・染色の材料費など最大限の節約を行っている。		
▲ 少し削減の余地があった						
× 削減の余地があった						

ACTION			
改善	事業内容の方向性		
	A 現状維持	理由	指定管理者制度導入へ移行
	B 内容の見直し		
	C 統廃合・休止・終了		
	事業規模の方向性		
	A 事業拡大	理由	指定管理者制度導入へ移行
B 現状維持			
C 事業縮小			

平成22年度 事務事業評価

整理番号
21-34

平成21年度予算	会計名称 一般会計	款 10	項 05	目 05	事業 03	細事業 01
細事業名	たちばな会館管理運営事業					

担当部局 教育委員会事務局	担当課長の氏名 安達 忠行
担当課等 社会教育課	担当者の氏名 椋平 哲朗

PLAN	
総合計画 (前期基本計画)	基本方針 (政策) IV 生涯学習都市 計画項目 (施策) ④ 社会教育・スポーツの充実 施策方針 3 生涯学習推進体制の整備
事業の目的 (どのような目的で事業を実施するか)	木津地区の生涯学習、コミュニティ活動の拠点であるたちばな会館の維持管理 事業の效果目標 (平成26年度までに、どのような効果をだすか。できるだけ指標と数値で記入) 良好な施設環境を維持する。

DO	
平成21年度事業の実績 (何を対象に、何をしたか)	たちばな会館の維持管理 利用実績 【会議室等】385回 延4,812人(平成20年度:320回 延4,725人) 【図書室】開館247日 利用者366人 貸出冊数2,172冊 (平成20年度:開館246日 利用者372人 貸出冊数2,143冊)
平成21年度事業の効果 (実績により、どのような効果があったか。できるだけ指標と数値で記入)	良好な施設環境を維持できた。

●平成21年度決算

予算科目	歳出		歳入		
	節	金額(千円)	項目	名称	金額(千円)
予算科目	11	568	財源内訳	国庫支出金	
	12	79		府支出金	
	13	795		起債	
	14	7		分担金・負担金	
			その他		
			一般財源	1,449	
事業費合計		1,449	合計		1,449

CHECK							
評価	目標達成度・・・DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)が、PLAN(事業の目的、あるいは平成26年度事業の効果目標)の達成に向けて順調に進捗したか						
	<table border="1"> <tr> <td>○</td> <td>進捗している(できている)</td> <td rowspan="3">理由 良好な施設環境が維持できた。</td> </tr> <tr> <td>○</td> <td>▲ 少し遅れている(少しできていない)</td> </tr> <tr> <td>○</td> <td>× 遅れている(できていない)</td> </tr> </table>	○	進捗している(できている)	理由 良好な施設環境が維持できた。	○	▲ 少し遅れている(少しできていない)	○
○	進捗している(できている)	理由 良好な施設環境が維持できた。					
○	▲ 少し遅れている(少しできていない)						
○	× 遅れている(できていない)						
評価	効率性・・・DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)に対して、コスト削減の余地がなかったか						
	<table border="1"> <tr> <td>○</td> <td>削減の余地がなかった</td> <td rowspan="3">理由 必要最小限の経費で良好な施設環境が維持できた。</td> </tr> <tr> <td>○</td> <td>▲ 少し削減の余地があった</td> </tr> <tr> <td>○</td> <td>× 削減の余地があった</td> </tr> </table>	○	削減の余地がなかった	理由 必要最小限の経費で良好な施設環境が維持できた。	○	▲ 少し削減の余地があった	○
○	削減の余地がなかった	理由 必要最小限の経費で良好な施設環境が維持できた。					
○	▲ 少し削減の余地があった						
○	× 削減の余地があった						

ACTION		
改善	事業内容の方向性	
	A 現状維持	理由 良好な施設環境が維持するため。
	B 内容の見直し	
	C 統廃合・休止・終了	
	事業規模の方向性	
	B 現状維持	理由 良好な施設環境が維持するため。
A 事業拡大		
C 事業縮小		

平成22年度 事務事業評価

整理番号
21-35

平成21年度予算	会計名称	款	項	目	事業	細事業
	一般会計	10	05	05	04	01
細事業名		網野教育会館管理運営事業				

担当部局	教育委員会事務局
担当課等	社会教育課
担当課長の氏名	安達 忠行
担当者の氏名	椋平 哲朗

PLAN	
総合計画 (前期基本計画)	基本方針 (政策) IV 生涯学習都市 計画項目 (施策) ④ 社会教育・スポーツの充実 施策方針 3 生涯学習推進体制の整備
事業の目的	(どのような目的で事業を実施するか) 人権学習をはじめとする社会教育施設として、また、地域のコミュニティ活動の拠点施設である網野教育会館の施設の維持管理 事業の目的 (平成26年度までに、どのような効果をだすか。できるだけ指標と数値で記入) 良好な施設環境を維持する。

DO	
平成21年度事業の実績	(何を対象に、何をしたか) 網野教育会館の維持管理。平成21年度から地元郷区へ業務委託し、管理者が原則平日の午前に勤務。また、屋上防水工事を実施した。 【利用実績】 474回 延5,874人 (平成20年度: 416回 延6,334人)
平成21年度事業の効果	(実績により、どのような効果があったか。できるだけ指標と数値で記入) 良好な施設環境を維持できた。

●平成21年度決算

予算科目	歳出		歳入		
	節	金額(千円)	項目	名称	金額(千円)
財源内訳	11	495	国庫支出金		
	12	68	府支出金		
	13	627	起債		
	14	36	分担金・負担金		
	15	5,123	その他		
	18	128			
事業費合計		6,477	一般財源		6,477
			合計		6,477

CHECK					
評価	目標達成度・・・DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)が、PLAN(事業の目的、あるいは平成26年度事業の効果目標)の達成に向けて順調に進捗したか				
	<table border="1"> <tr> <td>○ 進捗している(できている)</td> <td rowspan="3">理由</td> <td rowspan="3">良好な施設環境を維持できた。</td> </tr> <tr> <td>▲ 少し遅れている(少しできていない)</td> </tr> <tr> <td>× 遅れている(できていない)</td> </tr> </table>	○ 進捗している(できている)	理由	良好な施設環境を維持できた。	▲ 少し遅れている(少しできていない)
○ 進捗している(できている)	理由	良好な施設環境を維持できた。			
▲ 少し遅れている(少しできていない)					
× 遅れている(できていない)					
評価	効率性・・・DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)に対して、コスト削減の余地がなかったか				
	<table border="1"> <tr> <td>○ 削減の余地がなかった</td> <td rowspan="3">理由</td> <td rowspan="3">必要最小限の経費で良好な施設環境を維持できた。</td> </tr> <tr> <td>▲ 少し削減の余地があった</td> </tr> <tr> <td>× 削減の余地があった</td> </tr> </table>	○ 削減の余地がなかった	理由	必要最小限の経費で良好な施設環境を維持できた。	▲ 少し削減の余地があった
○ 削減の余地がなかった	理由	必要最小限の経費で良好な施設環境を維持できた。			
▲ 少し削減の余地があった					
× 削減の余地があった					

ACTION			
改善	事業内容の方向性		
	A 現状維持	理由	良好な施設環境を維持するため。
	B 内容の見直し		
	C 統廃合・休止・終了		
	事業規模の方向性		
	A 事業拡大	理由	良好な施設環境を維持するため。
B 現状維持			
C 事業縮小			

平成22年度 事務事業評価

整理番号
25-3

平成21年度予算	会計名称	款	項	目	事業	細事業
	一般会計	10	05	01	12	01
細事業名		人権教育事業				

担当部局	教育委員会事務局
担当課等	社会教育課
担当課長の氏名	安達 忠行
担当者の氏名	島貫 博志

PLAN	
総合計画 (前期基本計画)	基本方針 (政策) V パートナースhip都市 計画項目 (施策) ③ 人権の尊重 施策方針 1 人権学習の推進
事業の目的	(どのような目的で事業を実施するか) 様々な人権課題についての正しい理解と認識を深める。 事業の効果目標 (平成26年度までに、どのような効果をだすか。できるだけ指標と数値で記入) 人権研修・学習会への出席者数 1,000人

DO	
平成21年度事業の実績	(何を対象に、何をしたか) 国際理解、親子・地域の絆をテーマとした人権講演会をそれぞれ開催するとともに、映画を活用した人権学習会を各地域で実施し人権意識の高揚を図った。10回、延べ738名参加
平成21年度事業の効果	(実績により、どのような効果があったか。できるだけ指標と数値で記入) 多様な人権課題に関する理解が深まり、人権意識の高揚が図れた。

●平成21年度決算

予算科目	歳出		歳入	
	節	金額(千円)	項目	金額(千円)
事業費合計	9	19	国庫支出金	
	11	107	府支出金	人権問題啓発事業費補助金 296
	12	76	起債	
	13	244	分担金・負担金	
			その他	
			一般財源	150
事業費合計		446	合計	446

CHECK				
評価	目標達成度・・・DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)が、PLAN(事業の目的、あるいは平成26年度事業の効果目標)の達成に向けて順調に進捗したか			
	<table border="1"> <tr> <td>○ 進捗している(できている)</td> <td rowspan="3">理由 人権学習会への参加者の固定化への対策と人権啓発推進協議会の加盟団体等と連携した事業の実施などを進める必要がある。</td> </tr> <tr> <td>▲ 少し遅れている(少しできていない)</td> </tr> <tr> <td>× 遅れている(できていない)</td> </tr> </table>	○ 進捗している(できている)	理由 人権学習会への参加者の固定化への対策と人権啓発推進協議会の加盟団体等と連携した事業の実施などを進める必要がある。	▲ 少し遅れている(少しできていない)
○ 進捗している(できている)	理由 人権学習会への参加者の固定化への対策と人権啓発推進協議会の加盟団体等と連携した事業の実施などを進める必要がある。			
▲ 少し遅れている(少しできていない)				
× 遅れている(できていない)				
評価	効率性・・・DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)に対して、コスト削減の余地がなかったか			
	<table border="1"> <tr> <td>○ 削減の余地がなかった</td> <td rowspan="3">理由 京都府の補助事業を活用して事業を実施する。</td> </tr> <tr> <td>▲ 少し削減の余地があった</td> </tr> <tr> <td>× 削減の余地があった</td> </tr> </table>	○ 削減の余地がなかった	理由 京都府の補助事業を活用して事業を実施する。	▲ 少し削減の余地があった
○ 削減の余地がなかった	理由 京都府の補助事業を活用して事業を実施する。			
▲ 少し削減の余地があった				
× 削減の余地があった				

ACTION				
改善	事業内容の方向性			
	<table border="1"> <tr> <td>A 現状維持</td> <td rowspan="3">理由 一般市民を対象とした人権啓発事業は、市民課が所管し、各種団体等の指導者や関係機関職員を対象とした人権学習を社会教育課で担当する。</td> </tr> <tr> <td>B 内容の見直し</td> </tr> <tr> <td>C 統廃合・休止・終了</td> </tr> </table>	A 現状維持	理由 一般市民を対象とした人権啓発事業は、市民課が所管し、各種団体等の指導者や関係機関職員を対象とした人権学習を社会教育課で担当する。	B 内容の見直し
A 現状維持	理由 一般市民を対象とした人権啓発事業は、市民課が所管し、各種団体等の指導者や関係機関職員を対象とした人権学習を社会教育課で担当する。			
B 内容の見直し				
C 統廃合・休止・終了				
改善	事業規模の方向性			
	<table border="1"> <tr> <td>A 事業拡大</td> <td rowspan="3">理由 幅広い人権課題をテーマとした学習会を継続的に行う必要がある。</td> </tr> <tr> <td>B 現状維持</td> </tr> <tr> <td>C 事業縮小</td> </tr> </table>	A 事業拡大	理由 幅広い人権課題をテーマとした学習会を継続的に行う必要がある。	B 現状維持
A 事業拡大	理由 幅広い人権課題をテーマとした学習会を継続的に行う必要がある。			
B 現状維持				
C 事業縮小				